

手順編

STEP0.壁掛大便器スタンド ▶ 32	STEP11.前板(取り付け) ▶ 70
STEP1.フレーム ▶ 35	STEP12.ベビーチェア・ ボード部 ▶ 73
STEP2.フィラー固定材・ 側板 (側板がある場合) ▶ 45	STEP13.幼児用小便器 ▶ 75
STEP3.汚物流し用 排水継手 ▶ 48	STEP14.汚物流し ▶ 77
STEP4.止水栓 ▶ 49	STEP15.汚物流し用 セットタンク ▶ 80
STEP5.側面パネル・ 前板(準備) ▶ 53	STEP16.便器洗浄ユニット ▶ 86
STEP6.大便器 ▶ 57	STEP17.タッチスイッチ ▶ 89
STEP7.大便器用セットタンク ▶ 62	STEP18.器具類 ▶ 90
STEP8.幅木 ▶ 64	STEP19.甲板 ▶ 91
STEP9.フィラー ▶ 65	STEP20.手洗器 ▶ 95
STEP10.洗面器 ▶ 66	STEP21.大便器周辺器具類 ▶ 98
	STEP22.試運転・確認 ▶ 102

マーク表示について



手締めで

電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴

下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



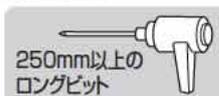
カット

カットしてください。



脱脂

脱脂用アルコールで
脱脂してください。



250mm以上の
ロングビット

ロングビットの電動ドライバーを
使用してください。



けがき



けがき

けがきをしてください。



水平確認

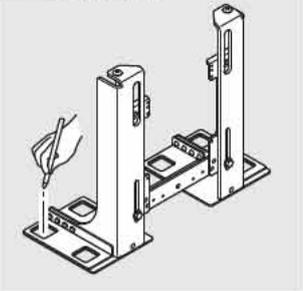


垂直確認

水準器で水平・垂直確認
してください。

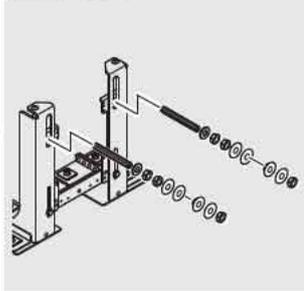
STEP0.壁掛大便器スタンド

1 壁掛大便器スタンドの取り付け



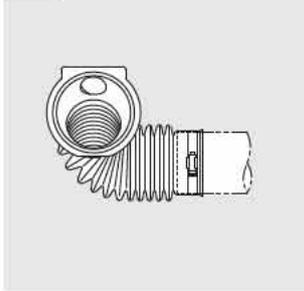
▶P.32

2 便器取付ボルトの仮固定



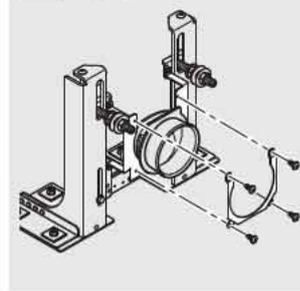
▶P.33

3 単独排水継手の設置



▶P.34

4 幕板・ソケット押え板の取り付け

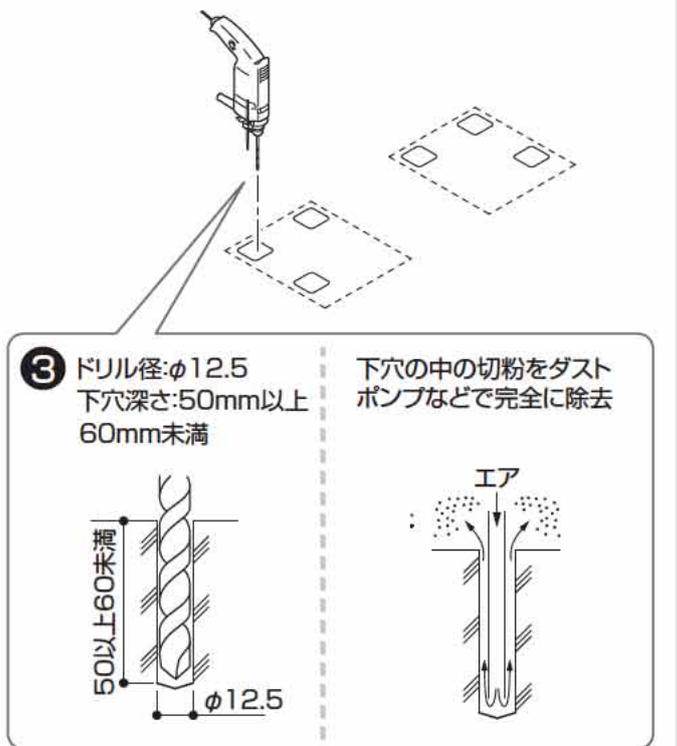
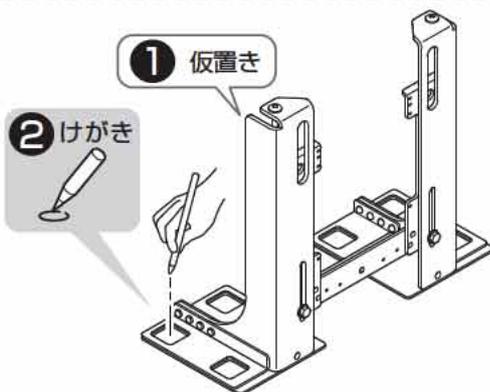
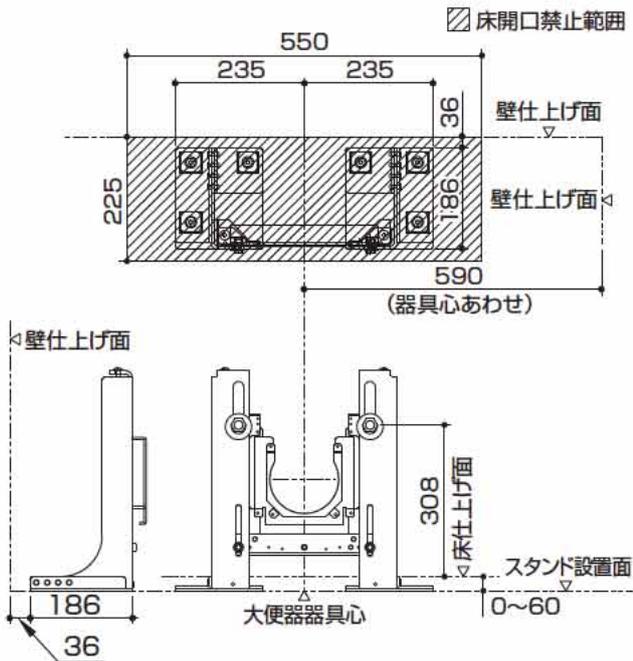


▶P.34

壁掛大便器スタンドのアンカー位置は事前施工情報を参考ください。

1 壁掛大便器スタンドの取り付け

スタンドの設置寸法



③ ドリル径:φ12.5
下穴深さ:50mm以上
60mm未満

下穴の中の切粉をダスト
ポンプなどで完全に除去

警告



禁止

・指定以外の径のドリルを用いたり、下穴深さが不足の状態では施工しない
強度不足による、スタンドの転倒や落下の原因となります。

・アンカー部分のベースプレートが浮いた状態で固定しない
アンカーの必要強度が得られません。ベースプレート接地面に不陸がある場合は、床コンクリートをレベル調整するか、スペーサー(現場手配)を用いて調節してください。

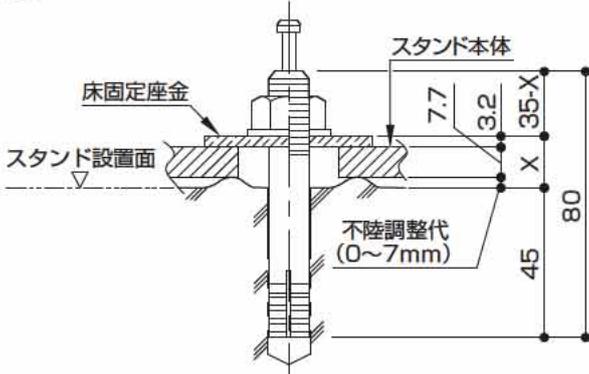


必ず守る

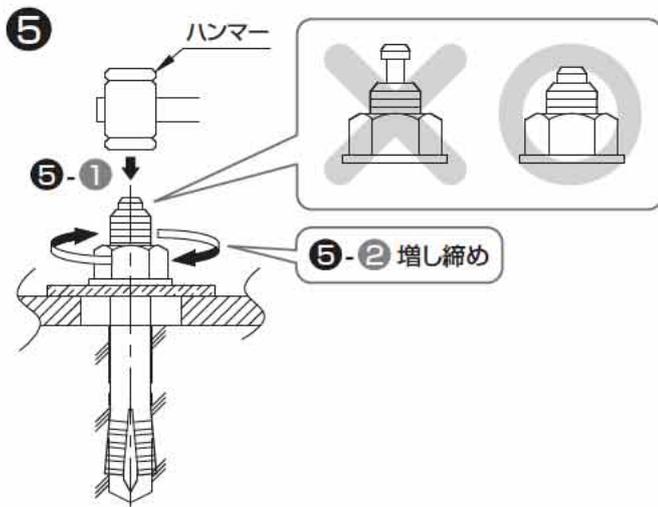
アンカーは穴あけ後、ダストポンプを使用して必ず穴の中の切粉を除去してから打ち込む

所定の強度を発揮できません。

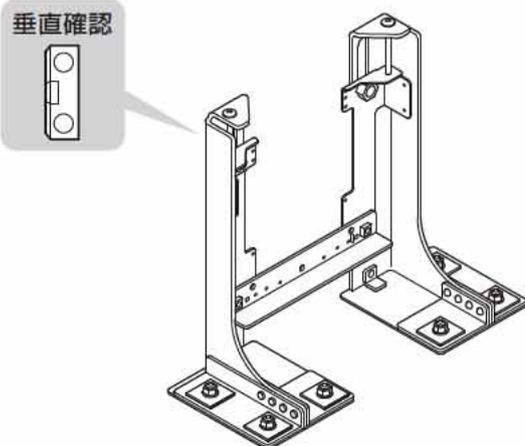
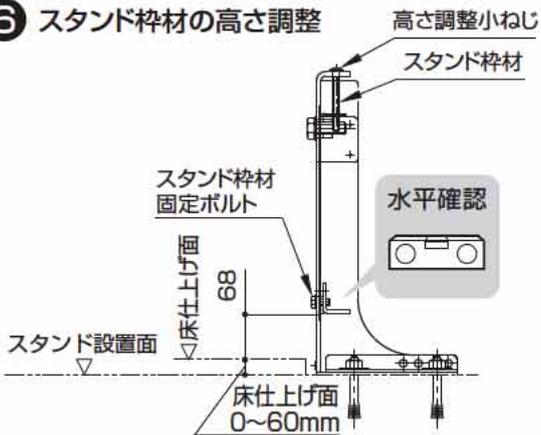
4 アンカー(M12)の取り付け



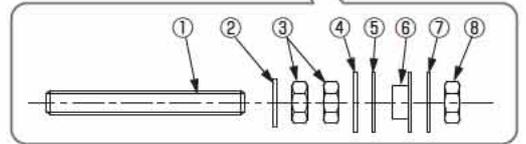
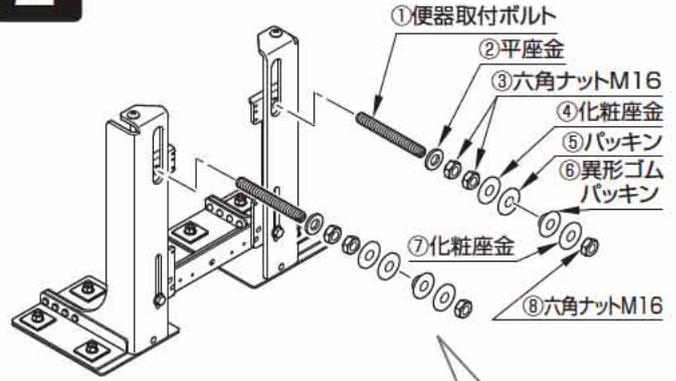
X=スタンド(t7.7)+床固定座金 (t3.2) + (不陸がある時は7mm以内)



6 スタンド枠材の高さ調整



2 便器取付ボルトの仮固定



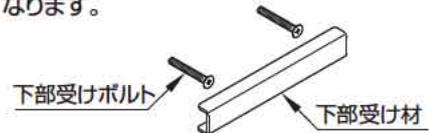
注意

下部受け材と下部受けボルトは、便器取付ボルトなどに袋ごとテープ止めするなどして紛失しないようにする

大便器施工時使用します。使用しないと、水漏れして財産損害発生の原因となります。



必ず守る



MEMO

3 単独排水継手の設置

- ・排水ソケットの上下を間違えないように取り付けてください。
(※形状をご確認ください)



配管の取り回し

注意



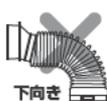
必ず守る

- ・配管(VU・VP75)と継手は硬質塩化ビニル管用接着剤で接着後バンド固定する

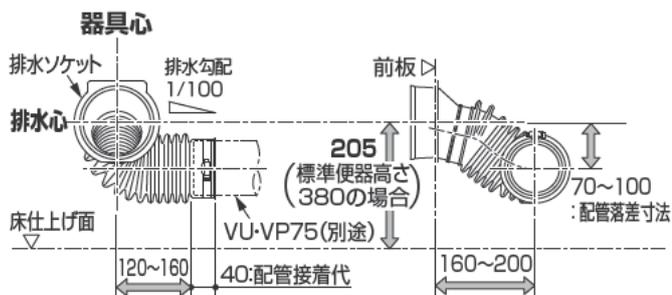
漏水の原因となり、周囲に損害を与えるおそれがあります。

- ・継手を下に振って設置しない

壁掛大便器取付スタンドの固定強度が確保できなくなります。



【横に振る場合】



注意



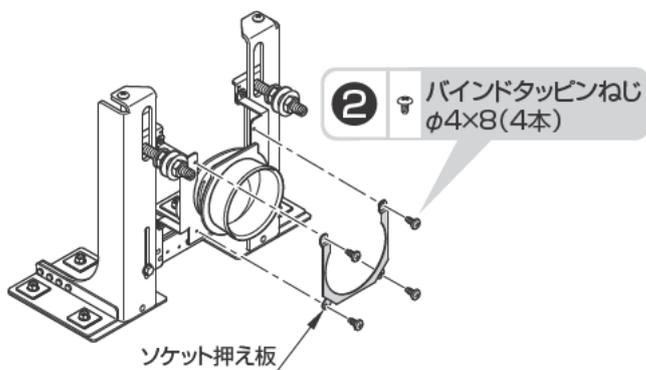
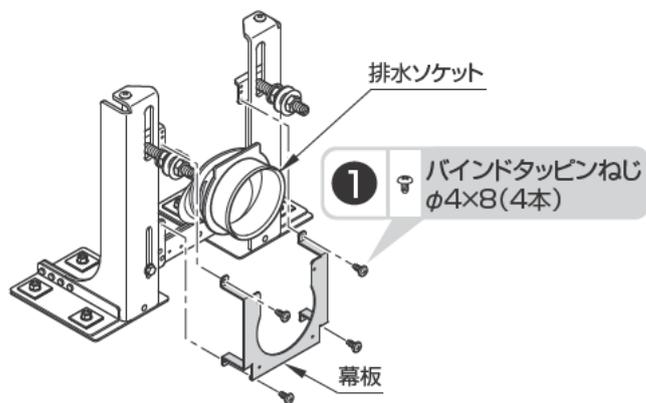
必ず守る

- ・ジャバラ部を無理に曲げたり、逆勾配にならないように接続する

漏水の原因となり、周囲に損害を与えるおそれがあります。



4 幕板・ソケット押え板の取り付け



MEMO

MEMO

STEP1. フレーム

<p>1 フレーム固定位置の墨出し</p> <p>▶P.35</p>	<p>2 大便器部フレームの取り付け準備、取り付け</p> <p>▶P.35</p>	<p>3 操作系部フレームの取り付け準備、取り付け</p> <p>▶P.37</p>	<p>4 洗面器部フレームの取り付け準備、取り付け</p> <p>▶P.39</p>	<p>5 ベビーチェア・ポード部、幼児用小便器、汚物流し部の連結材の取り付け</p> <p>▶P.40</p>
<p>6 ベビーチェア・ポード部フレームの取り付け準備、取り付け</p> <p>▶P.41</p>	<p>7 幼児用小便器部フレームの取り付け準備、取り付け</p> <p>▶P.42</p>	<p>8 汚物流し部フレームの取り付け準備、取り付け</p> <p>▶P.43</p>	<p>9 フレームの調整と本固定</p> <p>▶P.44</p>	

1 フレーム固定位置の墨出し

① 製品の仕様を確認し、床壁固定位置を墨出しする
▶事前施工情報参照
【下地がコンクリートの場合】

② 樹脂プラグ用の下穴をあける

樹脂プラグ (下穴φ8 深さ:仕上げ厚+55mm)

下穴 φ8

2 大便器部フレームの取り付け準備、取り付け

※大便器部フレームが他のフレームの基準になります。

① 壁ハンガーの取り付け

1-1 けがき | 1-3 水平確認 | 壁ハンガー | 大形角(4個)

1-2 下穴 φ4 | 1-4 本固定

トラスタッピンねじ φ5×50(4本)

フレーム上端が床仕上げ面より807 | 長穴中央が操作系部壁仕上げ面より590

2 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

2-4 大便器部横に別のフレームが付く場合
バインドタッピンねじ φ4×8(1本)

2-3 バインドタッピンねじ φ4×8(8本)

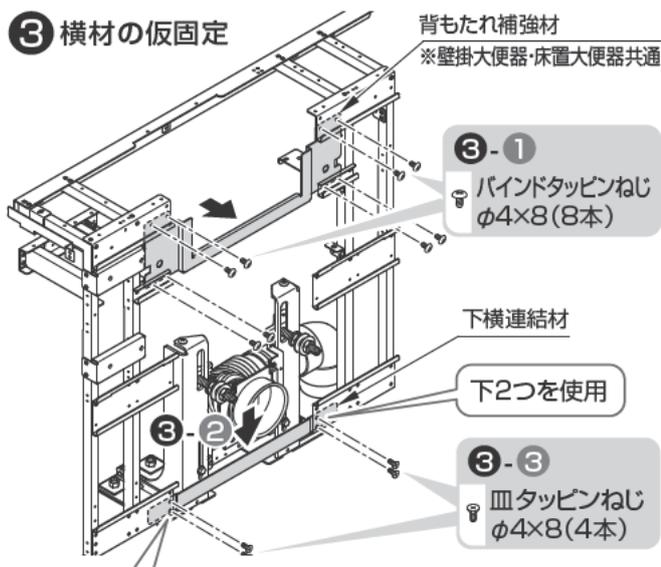
側板下部固定材

2-2【上部】2カ所
アプセットタッピンねじ φ8×30(2本)
10mm程度 フレームから突き出す

2-1【下部】4カ所
アプセットタッピンねじ φ8×30(4本)
15mm程度 フレームから突き出す

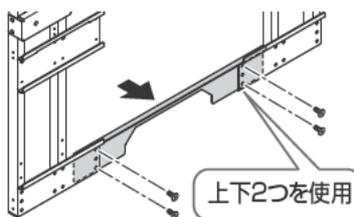
2-4 大便器部のみの場合
側板が取り付け側に、側板下部固定材を取り付ける
皿タッピンねじ φ4×8(2本)

③ 横材の仮固定



床置大便器の場合

皿タッピンねじ
φ4×8 (4本)



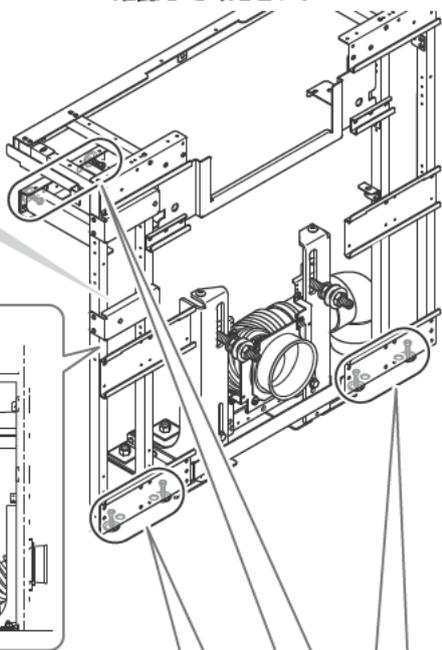
④ フレームの調整

※あらかじめ床固定用下穴位置を
確認してください。

④-2 水平確認



垂直確認



④-1

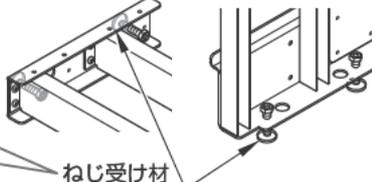
ねじ受け材は両面テープ
で張り付ける



アプセットタッピンねじ
φ8×30 (壁:2本、床:4本)

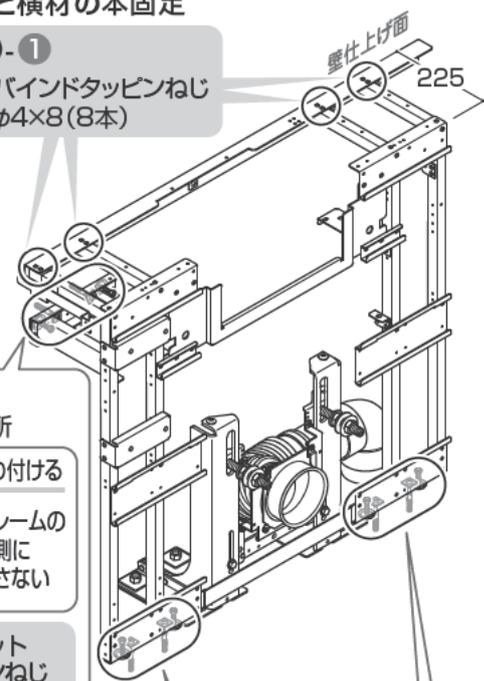
【壁】2カ所

【床】4カ所



⑤ フレームと横材の本固定

5-1 バインドタッピンねじ
φ4×8 (8本)

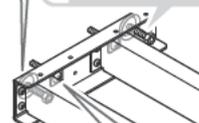


5-3 【壁固定】2カ所

ねじ受け材を張り付ける



アプセット
タッピンねじ
φ8×30 (2本)



5-4 フレームを固定する

トラス
タッピンねじ
φ5×50 (2本)



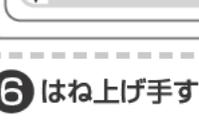
5-2 【床固定】4カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30 (4本)



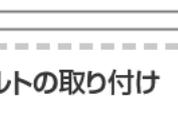
5-4 フレームを固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50 (4本)



※必ず樹脂プラグを入れて
ください。

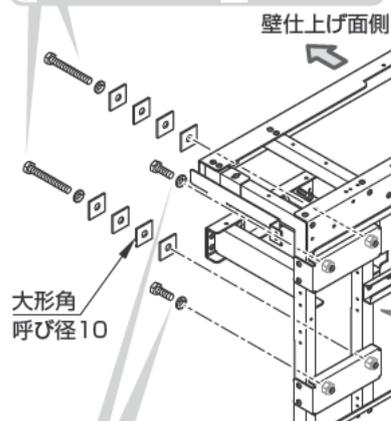
床下穴φ8
深さ55mm



⑥ はね上げ手すり固定ボルトの取り付け

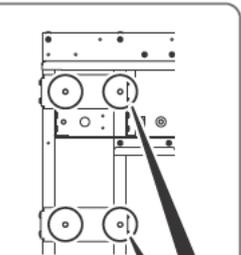
六角ボルト(大)
(2本)

ばね座金
M10 (2個)



六角ボルト(小)
(2本)

ばね座金
M10 (2個)



4カ所全て突き出ない
ようにする

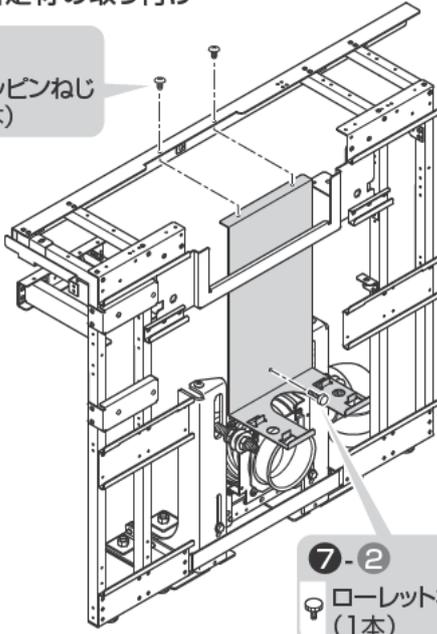
ボルトが突き出
ていると前板が取り
付けできません。

壁掛大便器の場合

7 タンク固定材の取り付け

7-1

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

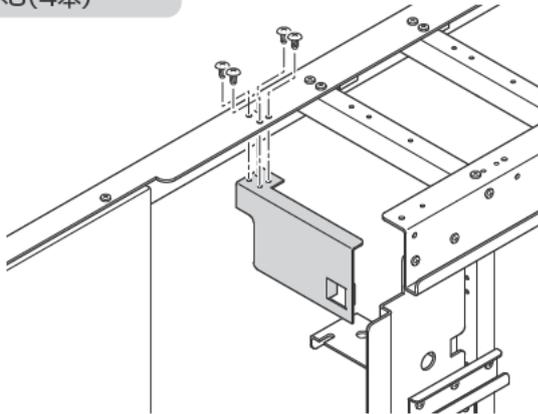


7-2

🔩 ローレットねじ
(1本)

8 便器洗浄ユニット支持材の取り付け

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)



※ 停電対応タイプを選択の場合は、形状が異なります。

3 操作系部フレーム
の取り付け準備、取り付け

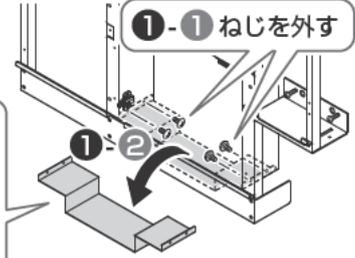
1 チャームボックス受け材を外す

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

1-1 ねじを外す

1-2

取り外した部品は
⑤ チャームボックス受け材
の取り付けで使用するの
で、ねじと一緒に保管してお
いてください。



2 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁上部】4カ所

🔩 アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

250mm以上の
ロングビット

10mm程度
フレームから突き出す

【床】4カ所

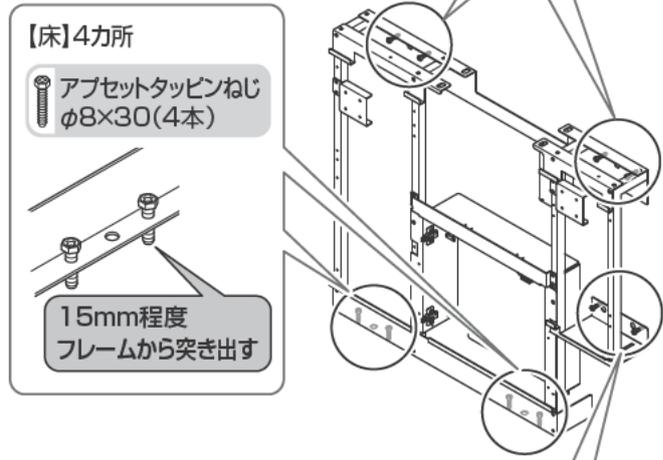
🔩 アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

15mm程度
フレームから突き出す

【壁下部】2カ所

🔩 アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

10mm程度
フレームから突き出す

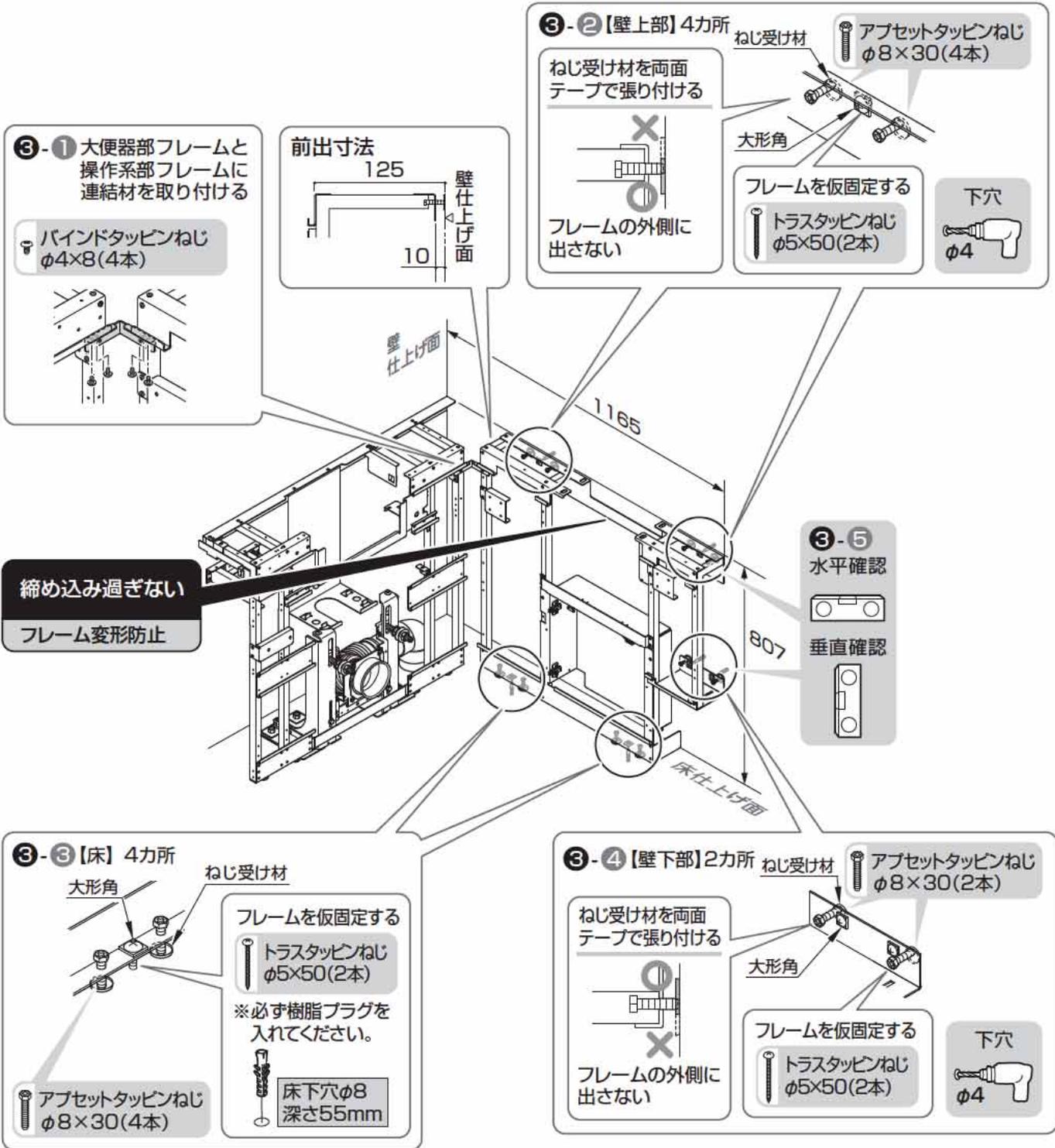
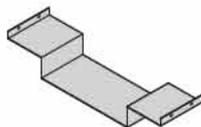


MEMO

MEMO

3 フレームの位置調整

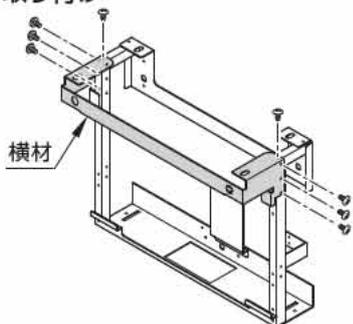
※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

**4** 仮固定のねじを本固定する**5** STEP1 (P.37) で外したチャームボックス受け材を取り付けるバインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

4 洗面器部フレームの取り付け準備、取り付け

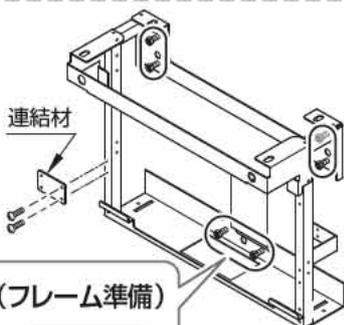
1 横材の固定

洗面器部フレームに同梱
 バインドタッピンねじ
 φ4×8(8本)



2 連結材の固定

洗面器部フレームに同梱
 バインドタッピンねじ
 φ4×8(2本)



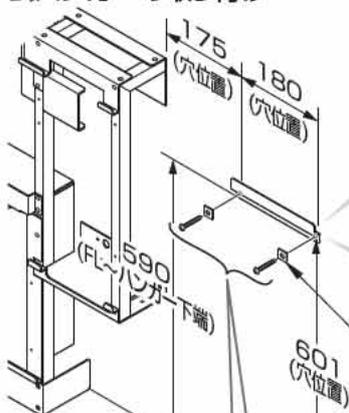
3 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

アプセット
 タッピンねじ
 φ8×30(6本)

10mm程度
 フレームから
 突き出す



4 フレームハンガーの取り付け



4-1 けがき

4-2 水平確認

大形角(2個)

4-3 本固定

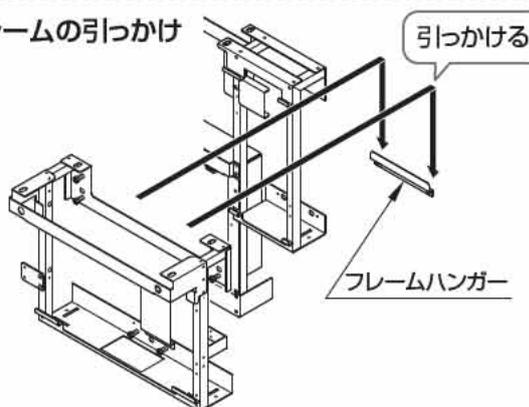
トラスタッピンねじ
 φ5×50(2本)

下穴

φ4



5 フレームの引っかけ



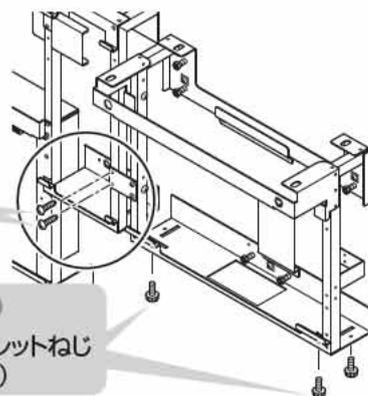
6 操作系部フレームと洗面器部フレームを連結する

6-1

バインドタッピンねじ
 φ4×8(2本)

6-2

ローレットねじ
 (3本)



7 フレームの位置調整

7-1 ねじ受け材を両面テープで壁に仮止める

7-2 【壁上部】2カ所 ねじ受け材

アプセットタッピンねじ
 φ8×30(2本)

ねじ受け材を
 張り付ける

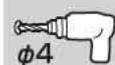


フレームの外側に
 出さない

7-5 フレームを 仮固定する

トラスタッピンねじ
 φ5×50(2本)

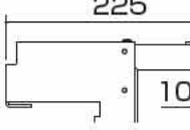
下穴



前出寸法

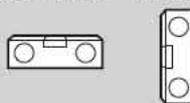
225

壁仕上げ面



7-4

水平確認 垂直確認



7-3 【壁下部】

大形角

アプセット
 タッピンねじ
 φ8×30(2本)

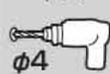


ねじ受け材

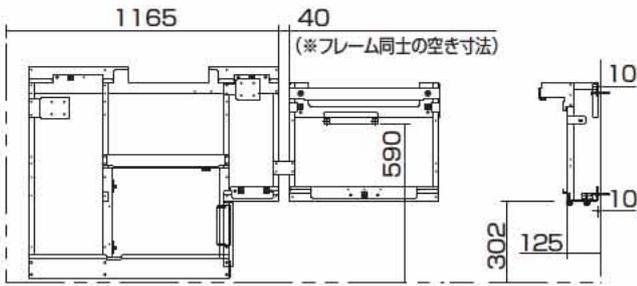
7-5 フレームを 仮固定する

トラスタッピンねじ
 φ5×50(1本)

下穴



フレーム調整寸法



⑧ ねじを本固定する

5 ベビーチェア・ボード部、
幼児用小便器部、汚物流し部の
連結材の取り付け

① 仕様を確認して、フレームと連結材を選定する

② フレームに連結材を固定する

【大便器部と連結する場合】

・連結材Bを固定する

※イラストはベビーチェア・ボード部の場合です。

※幼児用小便器部、汚物流し部のフレームの場合も同様です。

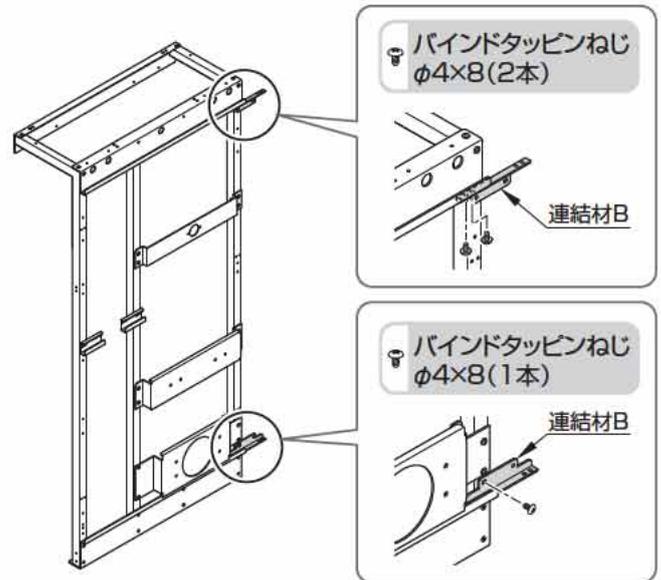


【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】

・連結材B(2個)を固定する

※イラストは幼児用小便器部の場合です。

※汚物流し部のフレームの場合も同様です。



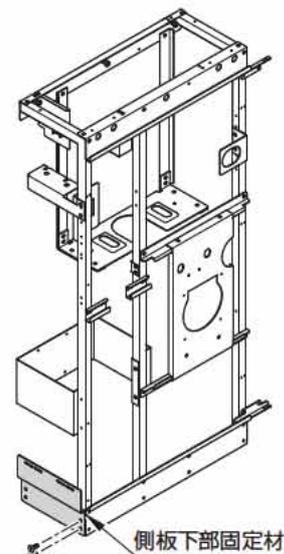
③ 側板下部固定材の固定

【側板がある場合】

・大便器部から最も離れている器具に固定する

※イラストは汚物流し部の場合です。

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部のフレームにも同様に固定が可能です。



側板がある場合

側板に同梱

皿タッピンねじ
φ4×8(2本)

6 ベビーチェア・ボード部フレームの取り付け準備、取り付け

1 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】2カ所 アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本)

10mm程度
フレームから突き出す

250mm以上の
ロングビット

【床】2カ所 アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本)

15mm程度
フレームから突き出す

2 連結材の取り付け

・大便器部横と連結する

バインドタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (2本)

バインドタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (1本)

3 フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

3-1 【壁】2カ所 アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本)

ねじ受け材を両面テープで張り付ける

ねじ受け材 大形角

3-4 フレームを仮固定する 下穴
トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$ (2本) $\phi 4$

フレームの外側に出さない

前出寸法
仕壁 225
上げ面 10

3-3 水平確認 垂直確認

1137

3-2 【床】2カ所 ねじ受け材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを入れてください。
床下穴 $\phi 8$ 深さ55mm

アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本) 大形角

3-4 フレームを仮固定する トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$ (1本) ねじ受け材

MEMO

7 幼児用小便器部フレーム の取り付け準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】3カ所

↑ アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

10mm程度
フレームから突き出す

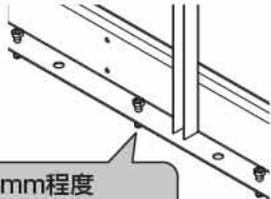


↑ 250mm以上の
ロングビット

【床】3カ所

↑ アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

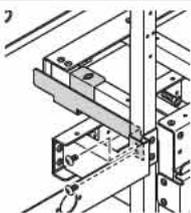
15mm程度
フレームから突き出す



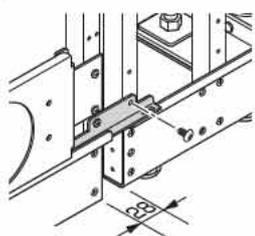
② 連結材の取り付け

【大便器部と連結する場合】

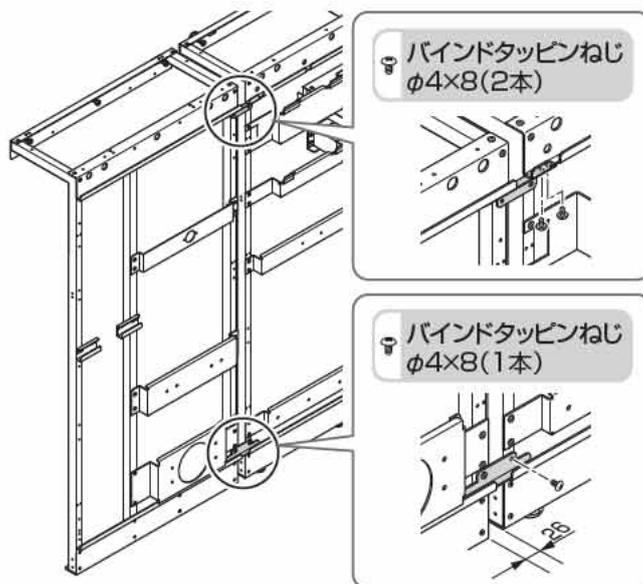
↑ バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



↑ バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



【ベビーチェア・ボード部に連結する場合】

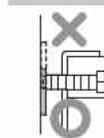


③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-① 【壁】3カ所

↑ アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

ねじ受け材を両面
テープで張り付ける

フレームの外側に出さない

ねじ受け材 大形角

③-④ フレームを仮固定する

↑ トラストタッピンねじ
φ5×50(2本)

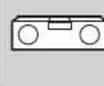
下穴
φ4

前出寸法

仕壁 225
↑ 10
上げ面

③-③

水平確認 垂直確認



③-② 【床】3カ所

ねじ受け材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。

床下穴φ8
深さ55mm

③-④

フレームを
仮固定する

↑ トラストタッピンねじ
φ5×50(2本)

↑ アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

大形角

ねじ受け材

1137

8 汚物流し部フレーム の取り付け準備、取り付け

① 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

10mm程度
フレームから突き出す

250mm以上の
ロングビット

【床】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

15mm程度
フレームから突き出す

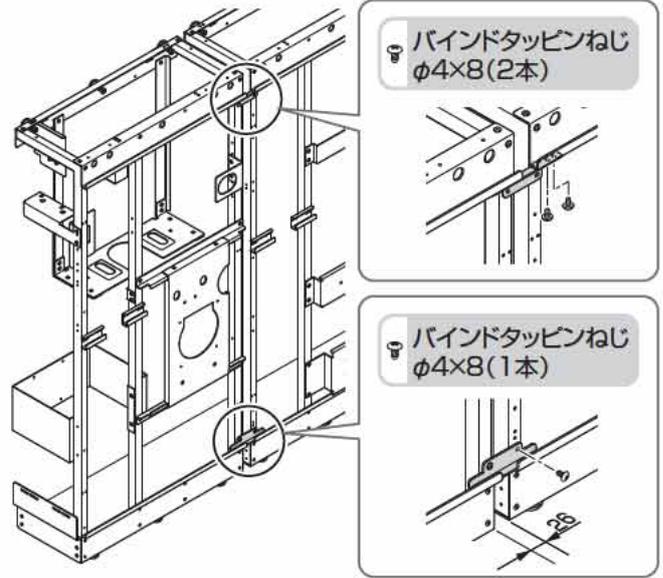
② 連結材の取り付け

【大便器部と連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】
※イラストは幼児用小便器部と連結する場合です。
ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。



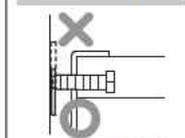
③ フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-①【壁】3カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)

ねじ受け材を両面
テープで張り付ける



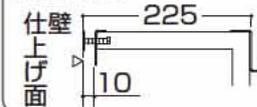
フレームの外側に出さない

③-④ フレームを仮固定する

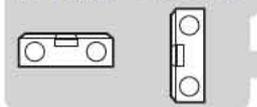
トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)



前出寸法



③-③ 水平確認 垂直確認



③-②【床】3カ所

ねじ受け材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。

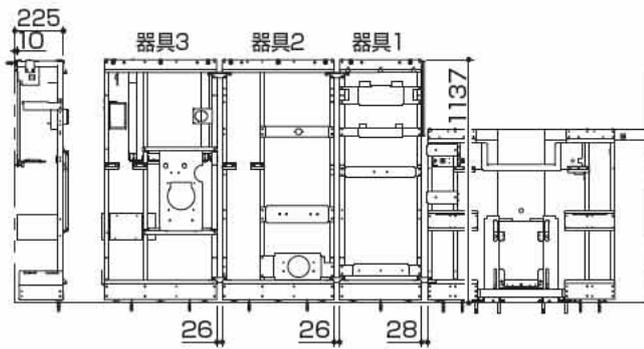
床下穴φ8
深さ55mm

③-④ フレームを 仮固定する

アプセットタッピンねじ
φ8×30(3本)



9 フレームの調整と本固定



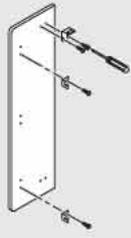
- ① フレームの位置調整
大便器部横の器具にあわせて調整する
- ② 各器具のねじを本固定する

MEMO

MEMO

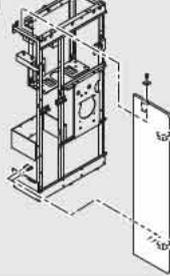
STEP2. フィラー固定材・側板 (側板がある場合)

1 フィラー固定材の取り付け



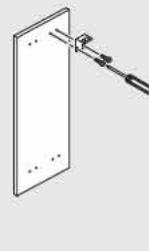
▶ P.45

2 側板の仮固定



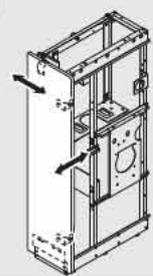
▶ P.46

3 側板の準備



▶ P.46

4 側板の本固定



▶ P.47

※本施工説明書では、右勝手のため側板が向かって左側に取り付く場合を記載します。
左勝手の場合は側板が向かって右側に取り付くので左右反転になります。

1 フィラー固定材の取り付け

【汚物流し部、ベビーチェア・ポード部、幼児用小便器部がある場合】

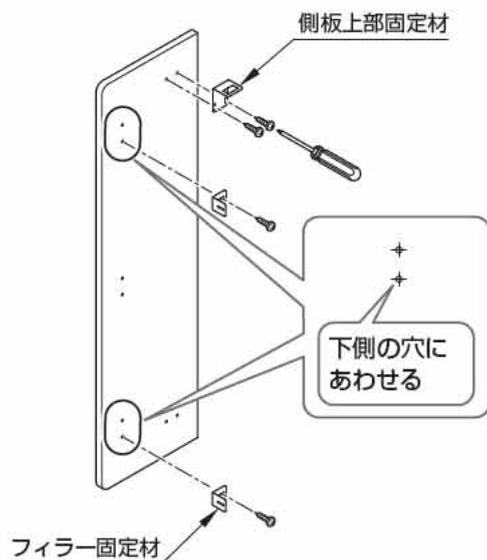
側板あり

フィラー固定材と側板上部固定材をねじで仮固定する

※長穴の中心を目安に手で動かせる程度。

タップンねじ
φ4×12 (4本)

手締めで



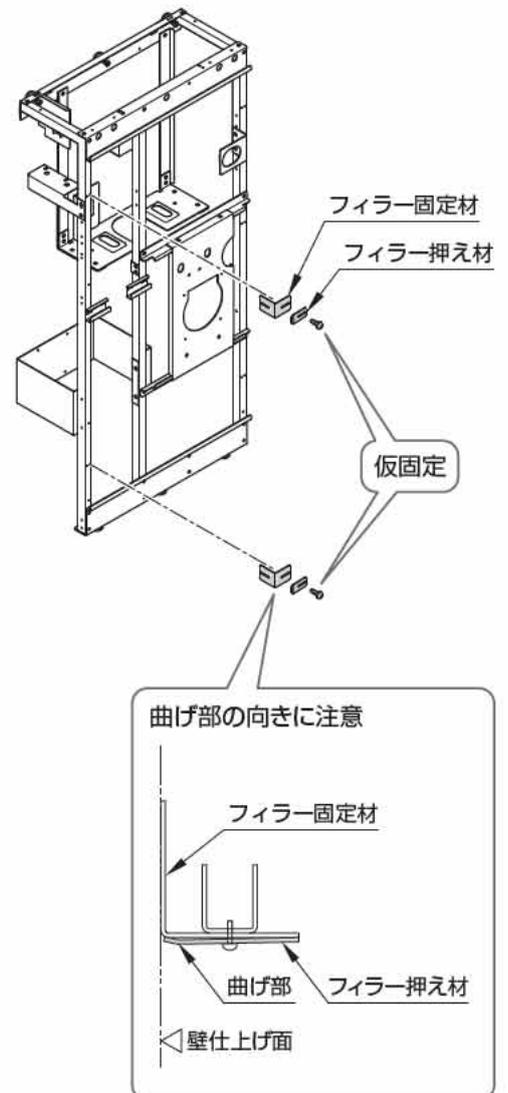
側板なし

フィラー固定材とフィラー押え材をフレームに仮固定する

※図は汚物流し部の場合。

※ベビーチェア・ポード部、幼児用小便器部の場合も同様です。

バインドタップンねじ
φ4×8 (2本)



2 側板の仮固定

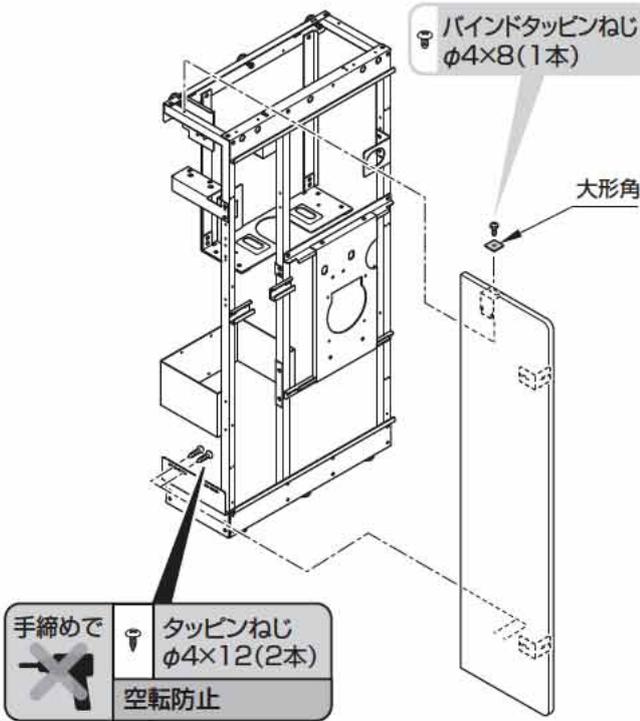
【汚物流し部、ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部の場合も同様です。

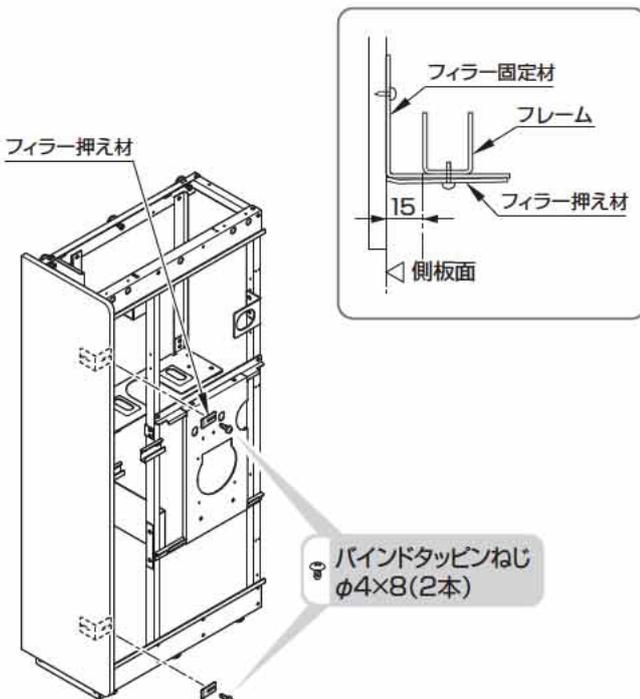
1 側板を側板下部固定材と側板上部固定材にて仮固定

※長穴の中心を目安に手で動かせる程度



2 フィラー押え材をフィルター固定材の位置に仮固定する

※側板を動かせる程度

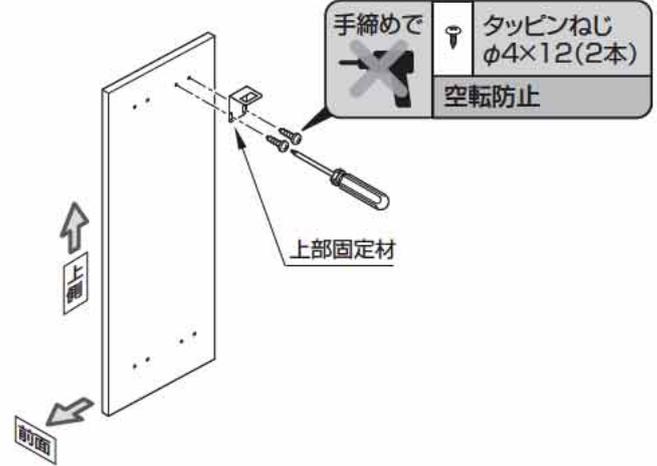


3 側板の準備

大便器部/操作系部/洗面器部

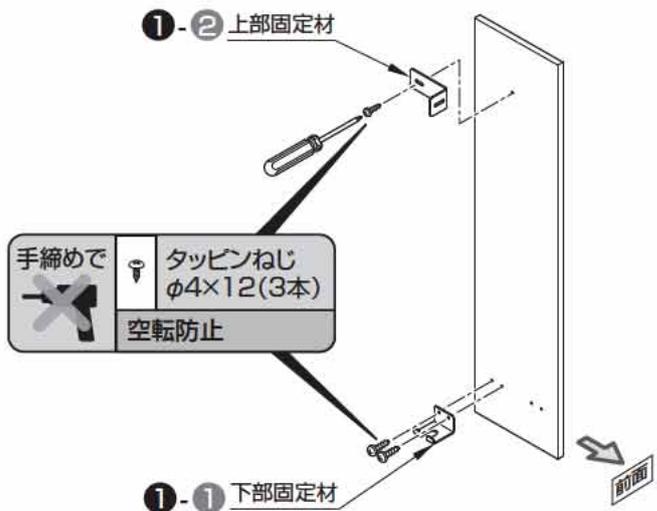
1 上部固定材と下部固定材を固定

【大便器部に側板が付く場合】

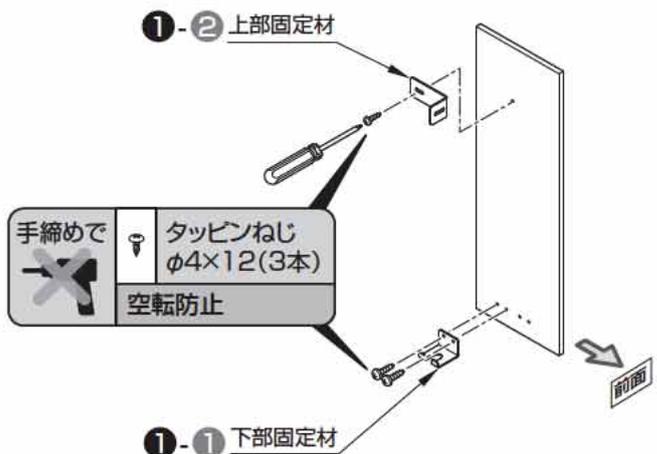


※大便器側の下部固定材はSTEP1で取り付けられているため不要です。

【操作系部(洗面器部なしの場合)】



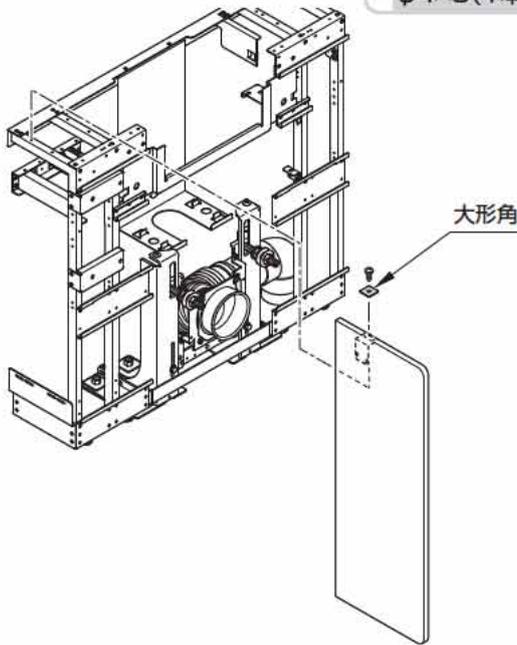
【洗面器部(洗面器部ありの場合)】



② フレームに側板を落下しない程度に仮固定する

【大便器部のみの場合】

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



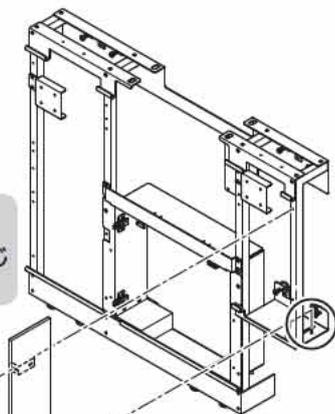
【操作系部(洗面器部なしの場合)】

手締めで



②-1

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



②-2

ローレットねじで固定

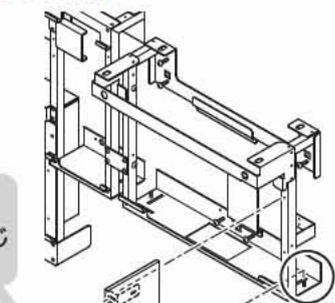
【洗面器部(洗面器部ありの場合)】

手締めで



②-1

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)



②-2

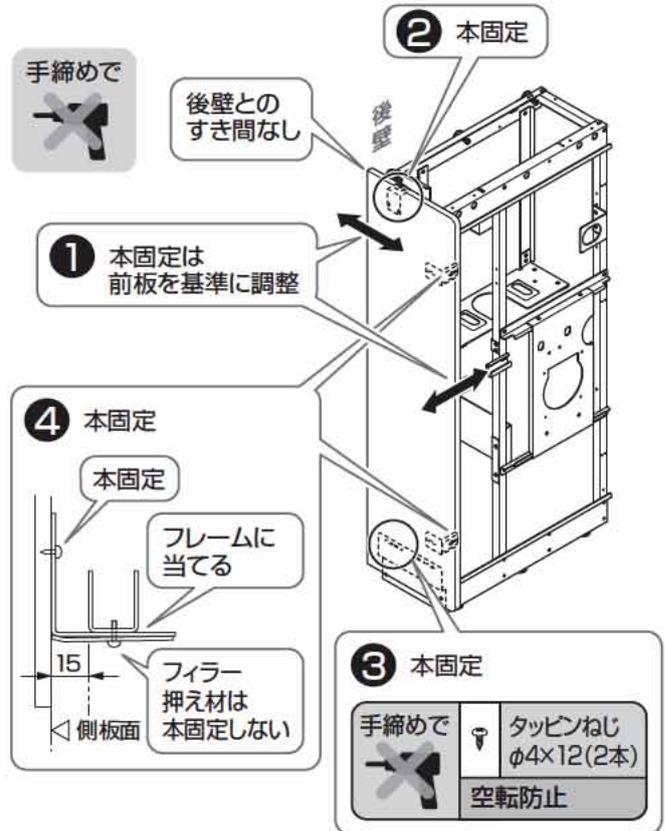
ローレット
ねじで固定

4 側板の本固定

【汚物流し部、ベビーチェア・ポード部、幼児用小便器部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※ベビーチェア・ポード部、幼児用小便器部の場合も同様です。



MEMO

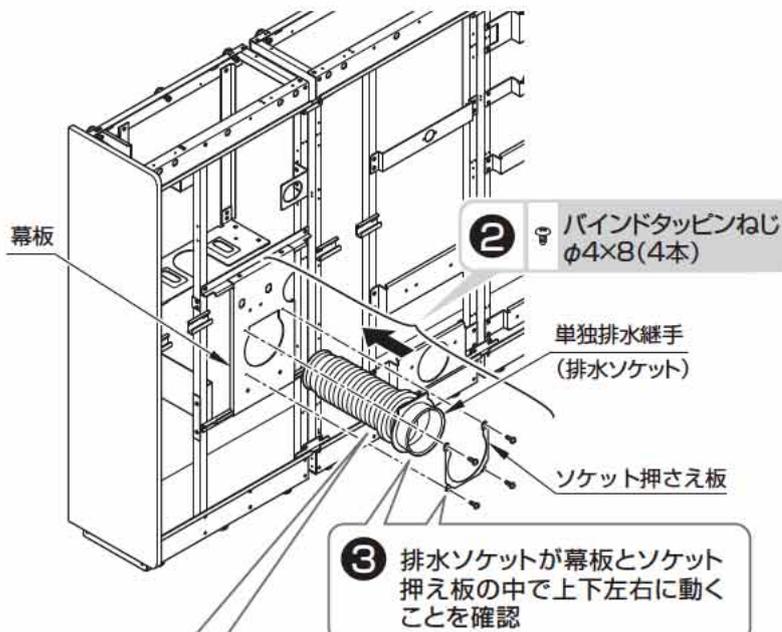
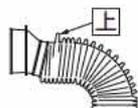
STEP3.汚物流し用排水継手

「汚物流しなし」の場合P.49
「STEP4.止水栓」に進んでください。

パッキンはSTEP14で使用

▶ 単独排水継手施工説明書参照

1 単独排水継手の向きを確認



4 内周塗布

塩ビ用
接着剤

外周塗布

塩ビ用
接着剤

ジャバラ部



バンド

5 固定

排水管(現場配管)



注意



必ず守る

締め過ぎに注意する

水漏れして建物や設備などを
めらす財産損害発生の原因と
なります。

注意



必ず守る

・ジャバラ部は必ず排水管に接着する

・ジャバラ部を無理に曲げたり逆勾配にならないよう接続する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

MEMO

STEP4. 止水栓

【大便器部】と【汚物流し部】で施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

大便器部	1 止水栓・分岐金具・L継手の取り付け	汚物流し部	2 サーモスタット・止水栓の接続	幼児用小便器部	3 止水栓の接続
	▶ P.49		▶ P.51		① 止水栓の接続 ▶ P.52 ② フレキ管の接続 ▶ P.52
汚物流し部	▶ P.50				

4 止水栓

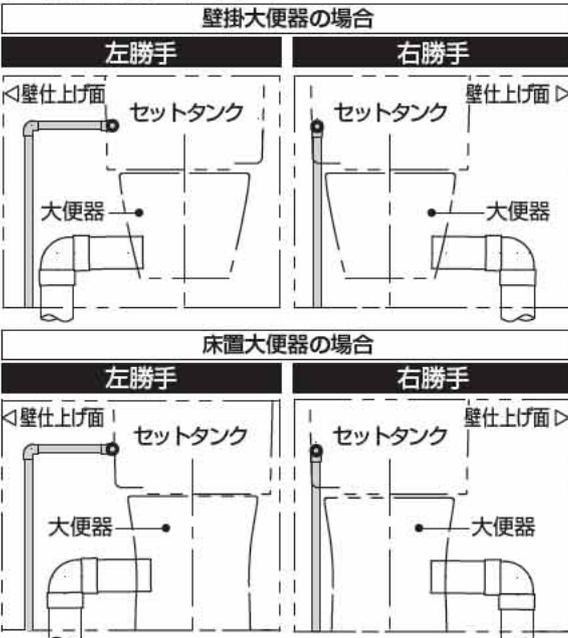
大便器部

1 止水栓・分岐金具・L継手の取り付け

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合		再生水仕様の場合	
ウォシュレットあり・パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・パウチしびん洗浄水栓なし	再生水側	水道水側
<p>↑ パウチしびん洗浄水栓 ウォシュレット ↓ セットタンク</p>	<p>ウォシュレット ↓ セットタンク ※分岐金具はウォシュレットに同梱</p>	<p>↓ セットタンク</p>	<p>ウォシュレット パウチ・しびん洗浄水栓 ふさぎナット</p>

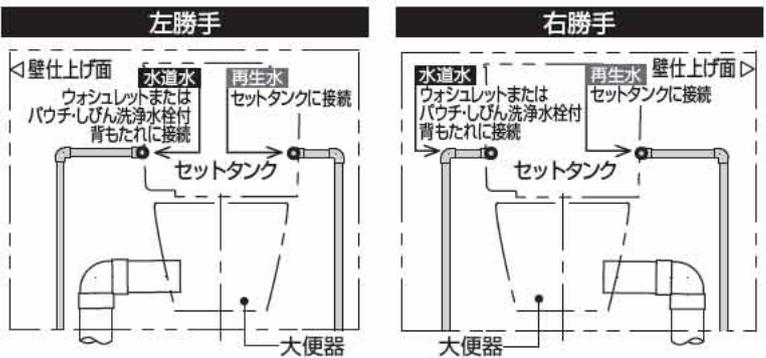
<給水立ち上げ位置>



<止水栓位置>

注意

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
必ず守る 故障や皮ふの炎症などをおこす原因となります。



汚物流し部

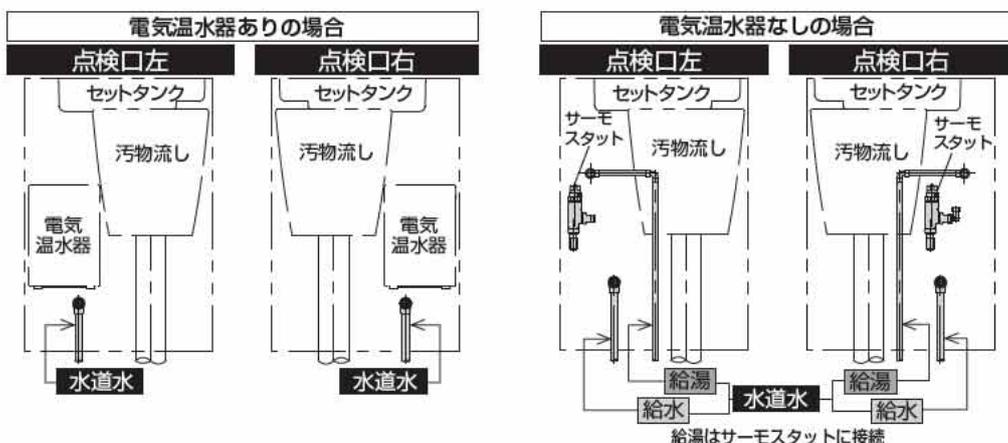
1 止水栓・分岐金具・L継手の取り付け

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。
下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

電気温水器あり・点検口左	電気温水器あり・点検口右	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
<p>セットタンク ↓ 電気温水器</p>	<p>セットタンク ↓ 電気温水器</p>	<p>給湯</p> <p>給湯 ↓ サーモスタット</p> <p>給水 シングルレバー ↓ セットタンク ↓ サーモスタット</p>	<p>給湯</p> <p>給湯 ↓ サーモスタット</p> <p>給水 シングルレバー ↓ セットタンク ↓ サーモスタット</p> <p>サーモスタット ※フレームに付いています</p>

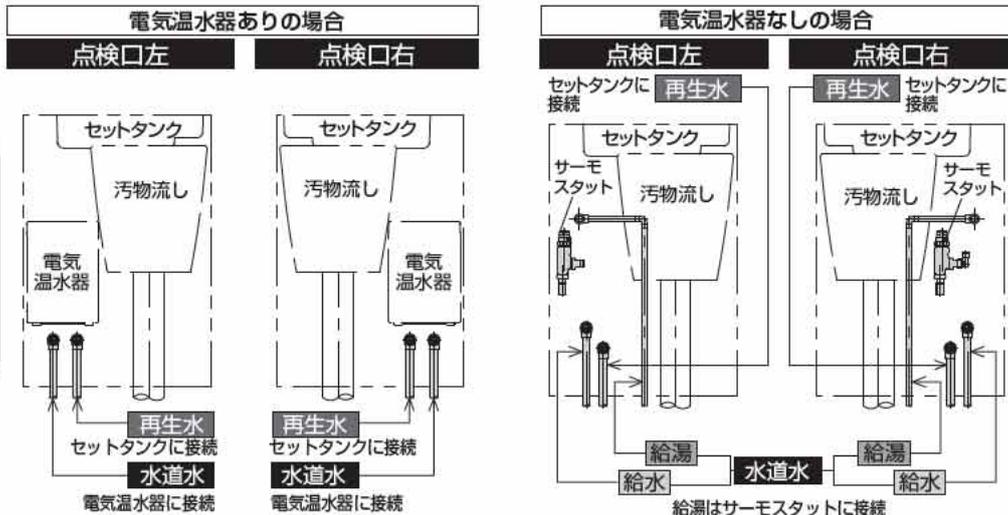
<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合

再生水側	水道水側		
	電気温水器あり	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
<p>点検口右</p> <p>点検口左</p>	<p>左右勝手とも 下向き</p> <p>電気温水器</p>	<p>給湯</p> <p>給湯 ↓ サーモスタット</p> <p>給水 シングルレバー ↓ サーモスタット</p>	<p>給湯</p> <p>給湯 ↓ サーモスタット</p> <p>給水 シングルレバー ↓ サーモスタット</p> <p>サーモスタット ※フレームに付いています</p>

<止水栓位置>



注意



再生水仕様の場合、
水道水と再生水を
間違えないよう給水
接続をする
必ず守る



2 サーマスタット・止水栓の接続

下記表を参考に、各止水栓とサーモスタットをフレキホース・フレキ管で接続します。

サーモスタットの接続先	長さ
止水栓(給水管用)フレキホース	約600mm
止水栓(給湯管用)フレキ管	約500mm

警告

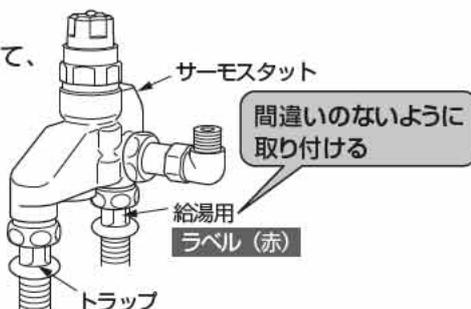
湯水を逆に接続しない
水を出そうとした際に湯が出て、
やけどの原因になります。



禁止

【サーモスタットの取出口】

- ・奥(壁)側…給湯用
- ・手前側…給水管

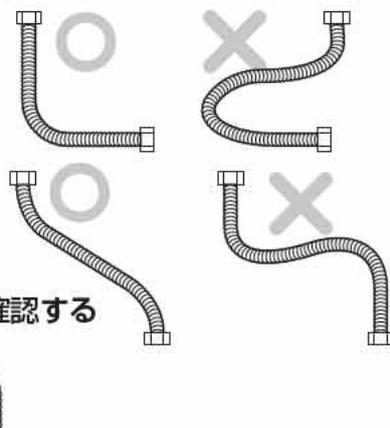


【フレキ管】

注意

フレキ管の取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

- ・フレキ管は、取り付けの前にあらかじめ所定の形に曲げる
フレキ管は小さい角度で曲げないでください。
また、袋ナット付け根部分を曲げないでください。
- ・1～2回程度の曲げで所定の形にする
曲げ作業をくり返すと破損するおそれがあります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取り付け後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキ管は極端に折らず、R60以上を確保する



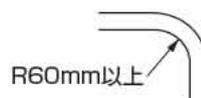
R60mm以上

【フレキホース】

注意

フレキホースの取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取り付け後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキホースは極端に折らず、R60以上を確保する
- ・フレキ管とフレキホースは接触させない



R60mm以上

止水栓(給水管用)は一方の口をサーモスタットと接続し、もう一方の口はシングルレバーと接続します。
下記を参照して、接続する口を間違えないよう取り付けてください。

▶シングルレバーとの接続 P.85 STEP15参照

点検口左の場合

水道水仕様の場合

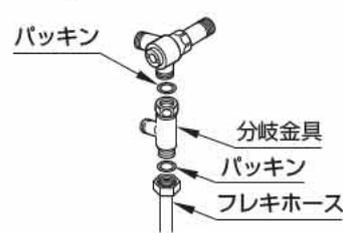


再生水仕様の場合



点検口右の場合

水道水仕様の場合



再生水仕様の場合



注意



接続する給水口を逆に配管しない

フレキホースに無理な力がかかってキックの原因となり水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

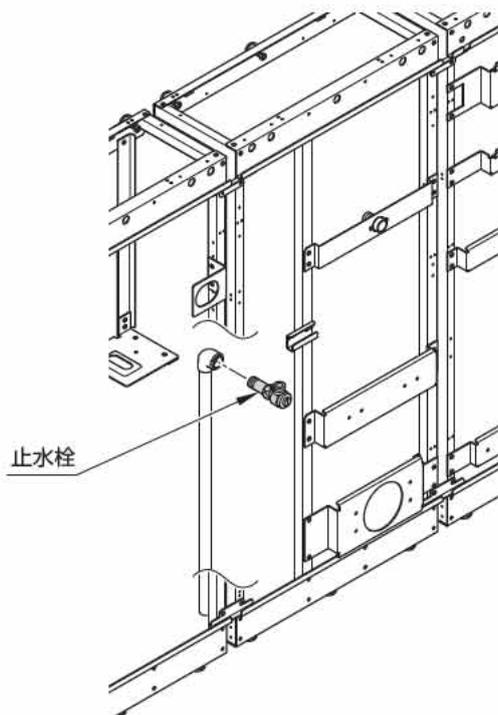
禁止

幼児用小便器部

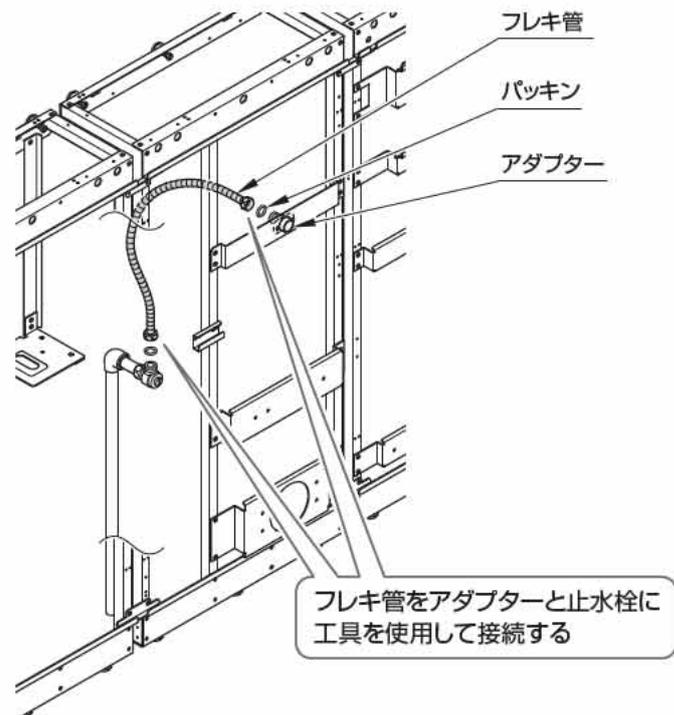
3 止水栓の接続

※イラストは点検口左の場合ですが、点検口右の場合も同様です。

① 止水栓の接続



② フレキ管の接続



STEP5.側面パネル・前板(準備)

1 操作系側面パネルの準備



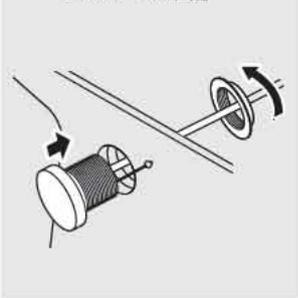
▶P.53

2 洗面器部前板の準備



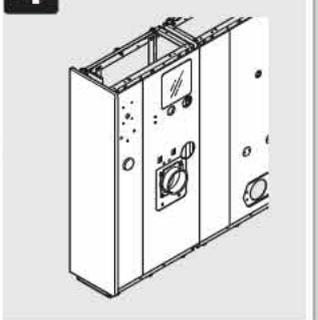
▶P.53

3 停電時対応洗浄レバーの準備



▶P.53

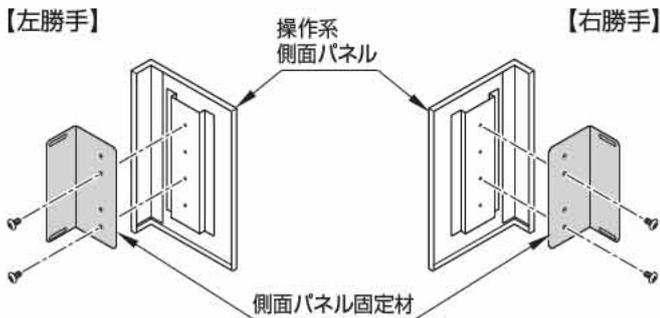
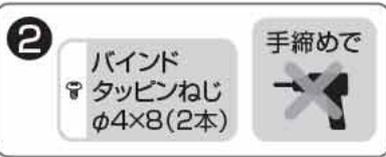
4 前板の仮組み・側板の固定



▶P.54

1 操作系側面パネルの準備

① 養生フィルムをはがす



3 停電時洗浄レバーの準備

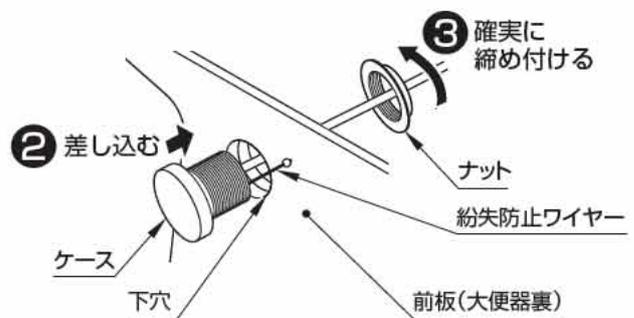
停電対応ありの場合

【大便器部／汚物流し部共通】

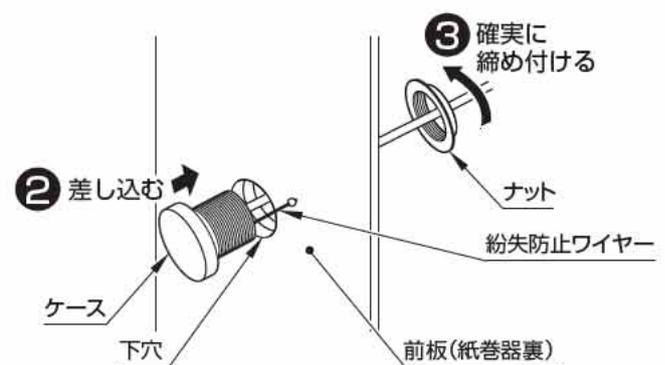
① 養生フィルムをはがす

開口に紛失防止ワイヤーを通して、ワイヤーをねじ部に挟み込まないように取り付ける

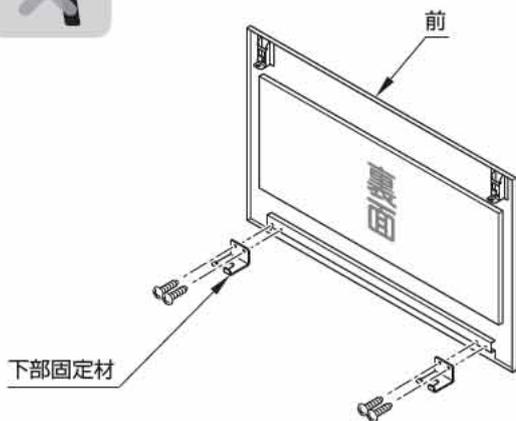
【大便器部】



【汚物流し部】



2 洗面器部前板の準備



4 前板の仮組み・側板の固定

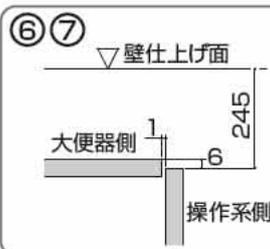
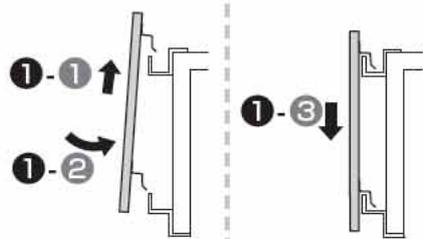
壁掛大便器

① ①～⑬の順番で前板を設置する

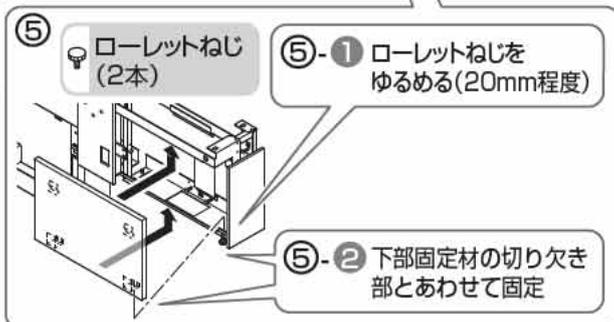
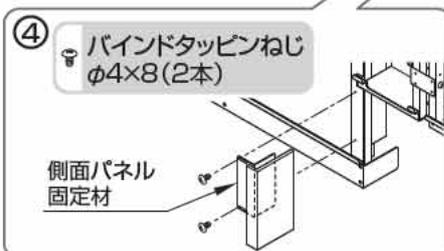
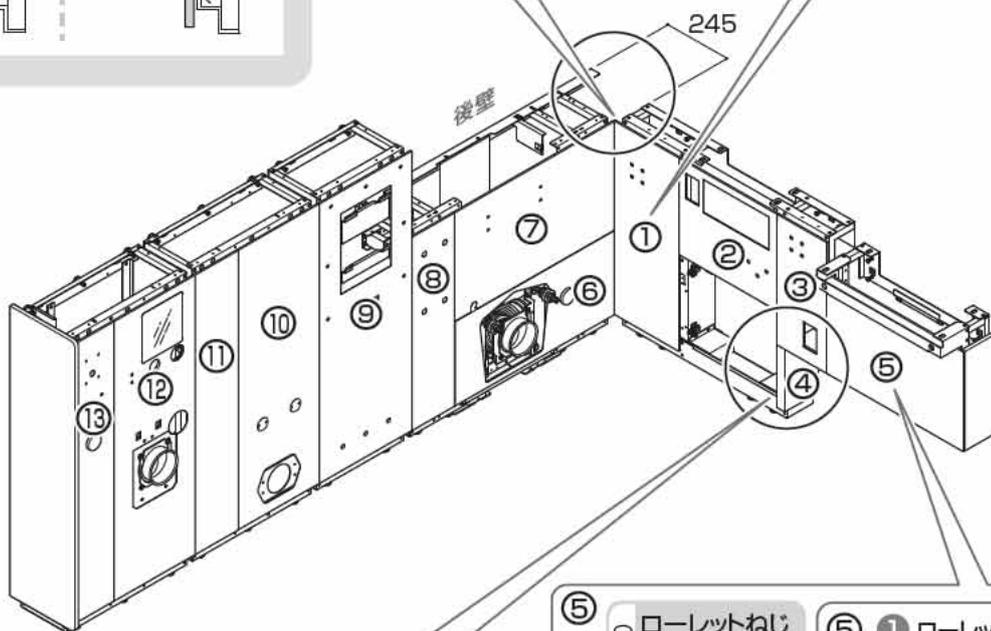
注意

仮組みの段階で④⑥⑬以外の養生フィルムははがさない

前板の取り付け方



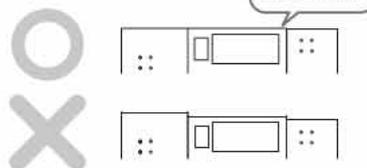
① 壁仕上げ面から、245mm程度離して①の前板を取り付ける



② 各前板の段差を解消させる

【ポイント】

- ⑨、⑩ の上部段差
- ⑪、⑫ の上部段差
- ①、⑦ の上部段差
- ③、④ の縦線
- ③、⑤ の下部段差



【上下段差が解消しない場合】

前板の仮組みを行い、上下段差、面段差を解消させる。

▶ 上下段差の調整方法はSTEP1参照

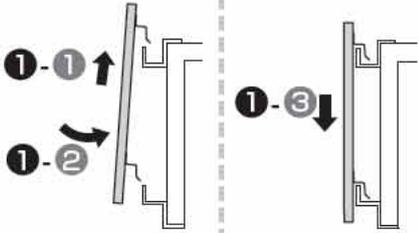
床置大便器

① ①～⑭の順番で前板を設置する

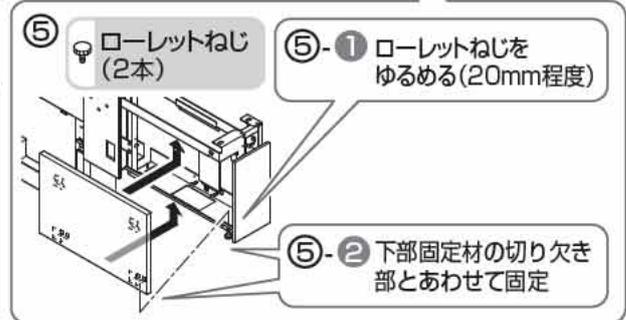
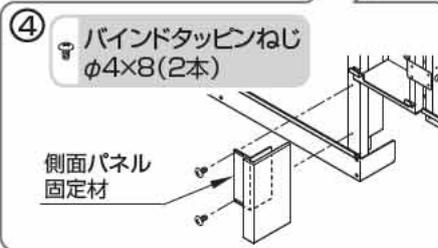
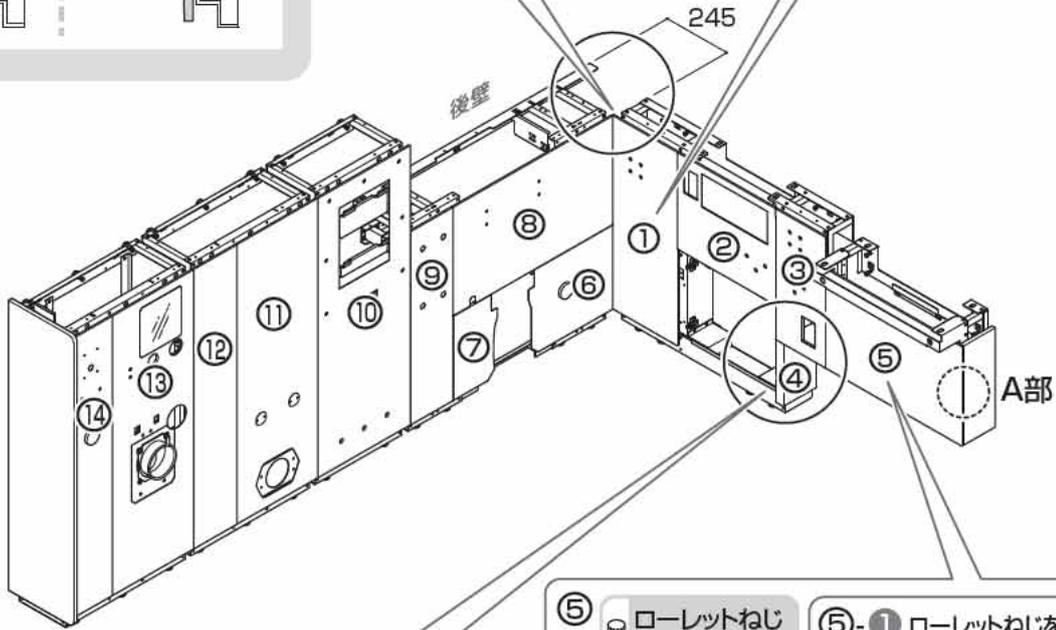
注意

仮組みの段階で④⑥⑭以外の養生フィルムははがさない

前板の取り付け方



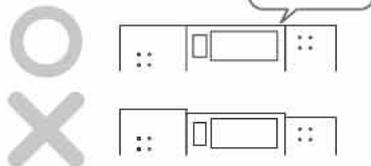
① 壁仕上げ面から、245mm程度離して①の前板を取り付ける



② 各前板の段差を解消させる

【ポイント】

- ①、⑧ の上部段差
- ⑩、⑪ の上部段差
- ⑫、⑬ の上部段差
- ③、④ の縦線
- ③、⑤ の下部段差



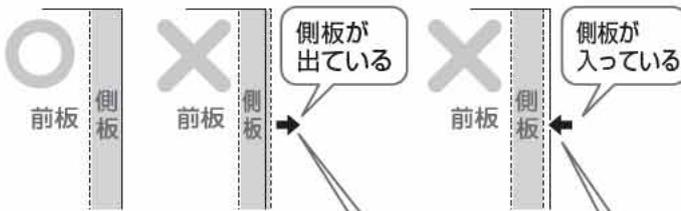
【上下段差が解消しない場合】

前板の仮組みを行い、上下段差、面段差を解消させる。
▶上下段差の調整方法はSTEP1参照

共通

③ 側板の調整、固定

【正面から見た図】 ※P.55 A部の例

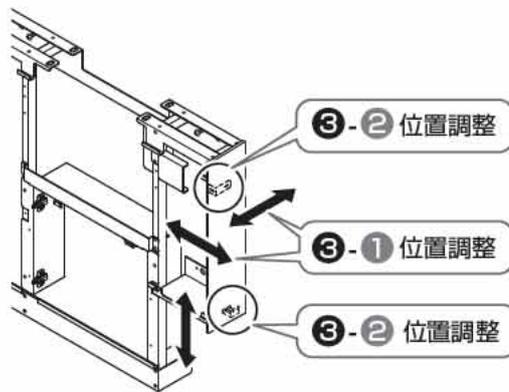


【前板とつらがあっていない場合】
前板を取り外し、側板を壁面に対して、前後、上下させ調整を行う

調整方法

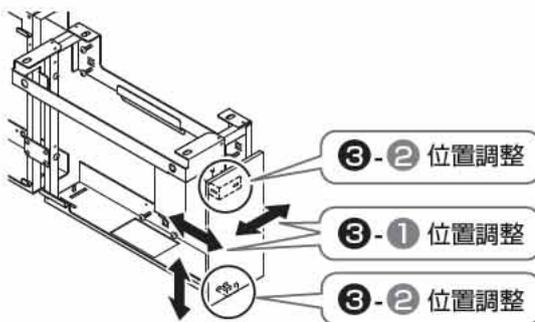
【操作系部】

手締めで



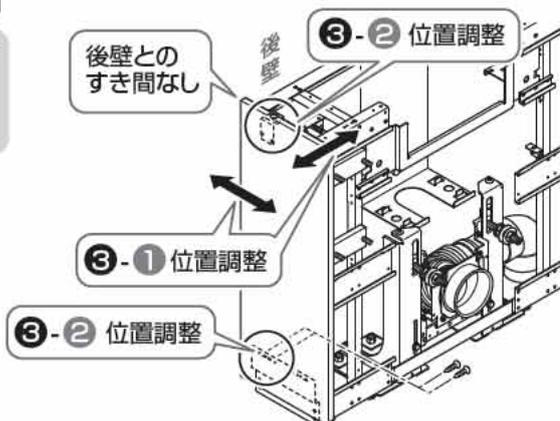
【洗面器部】

手締めで



【大便器部】

手締めで



パインドタッピンねじ
φ4×12(2本)

④ 調整したねじを固定する

手締めで



※前板を取り付け、取り外ししながら現場で調整してください。

⑤ 調整完了後、側面パネル以外の全ての前板を取り外す

※後のSTEPで内部機器の設置をしやすいです。

MEMO

STEP6.大便器

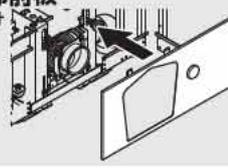
壁掛大便器

1 スパッド・排水パッキンの準備、取り付け



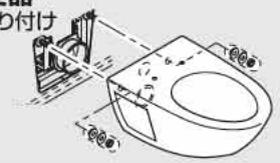
▶ P.57

2 大便器部前板の取り付け



▶ P.58

3 大便器の取り付け



▶ P.59

床置大便器

1 大便器の仮固定

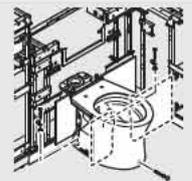


▶ P.60

2 排水ジョイント・排水管の取り付け

▶ 排水ジョイント施工説明書

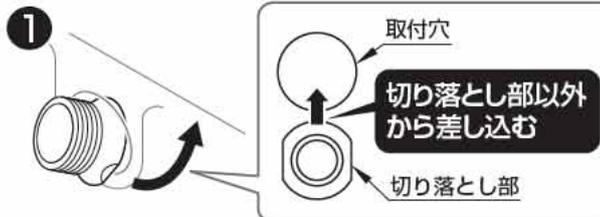
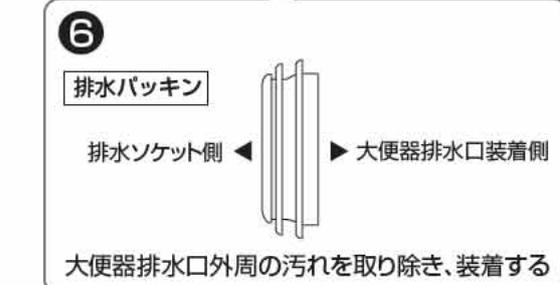
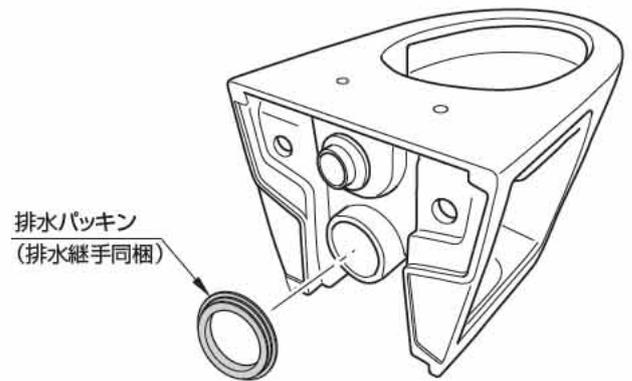
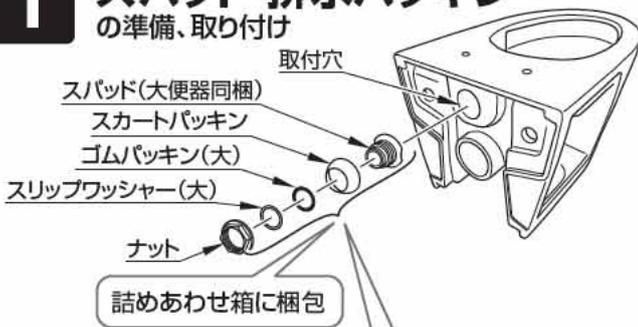
3 大便器の取り付け



▶ P.61

壁掛大便器

1 スパッド・排水パッキンの準備、取り付け



注意

禁止 グリスは使用しない
劣化し水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

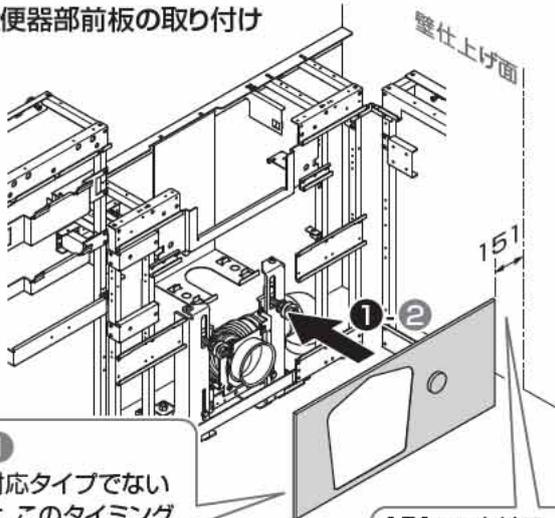
- 排水パッキン表面に必ず水または石けん水をつけてから差し込む
- 排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

密着するまで押し込む

壁掛大便器

2 大便器部前板の取り付け

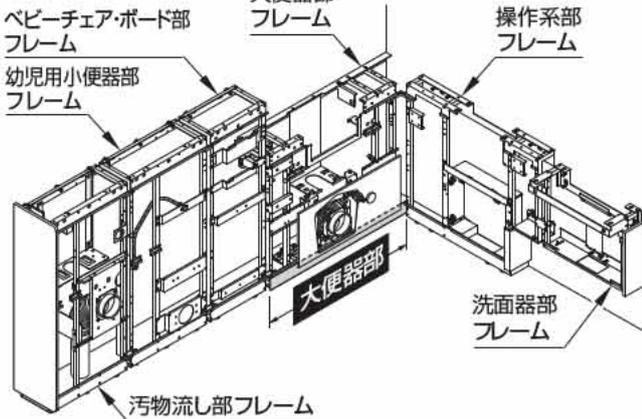
1 大便器部前板の取り付け



1-1 停電対応タイプでない場合は、このタイミングで養生フィルムをはがす

151mmあけて取り付ける

幅木の位置

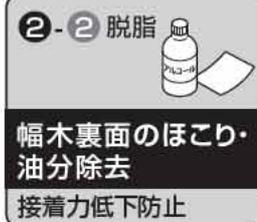


ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部がある場合

2

2-1 表面の養生フィルムをはがす

【裏面】



2-3 端まで

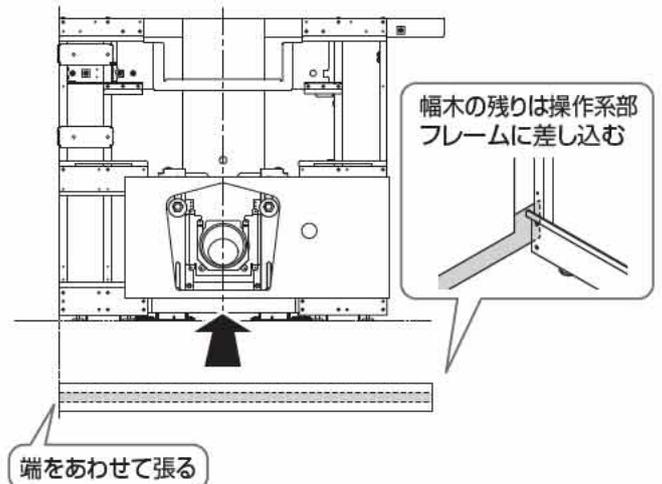
両面テープ



2-3 端まで

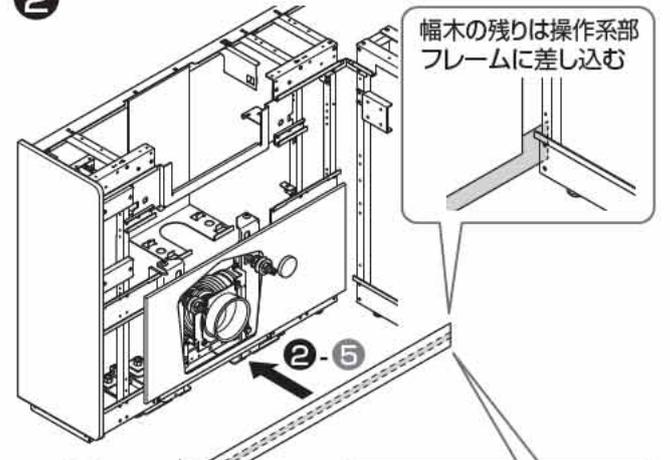
両面テープ

2-4



大便器部のみの場合

2



2-6



2-1 壁までの奥行きにあわせる

カット



※カット面はバリ取りをしてください。

2-2 表面の養生フィルムをはがす

2-3



幅木裏面のほこり・油分除去 接着力低下防止

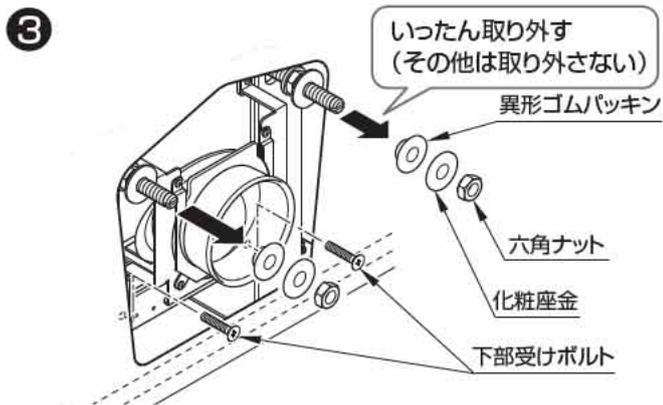
2-4 端まで

両面テープ

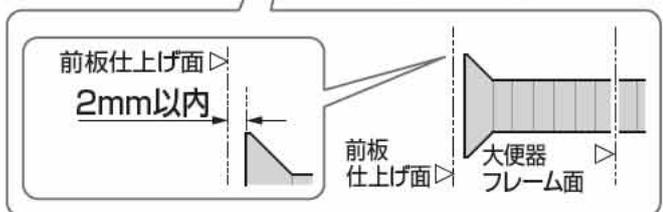
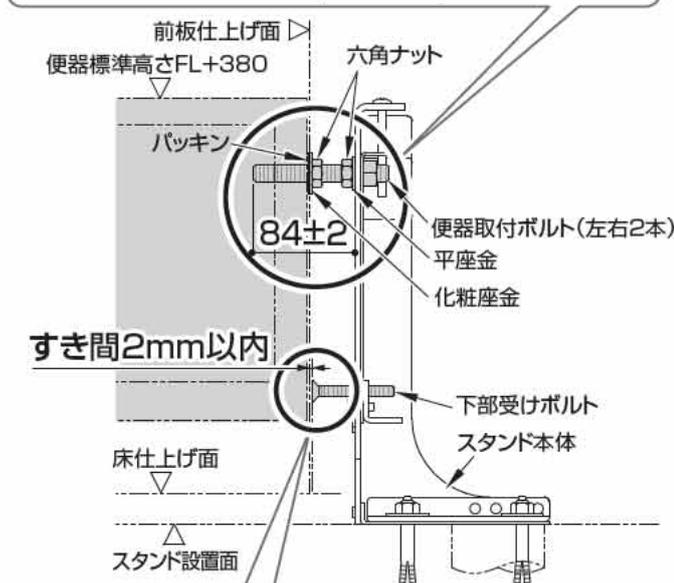
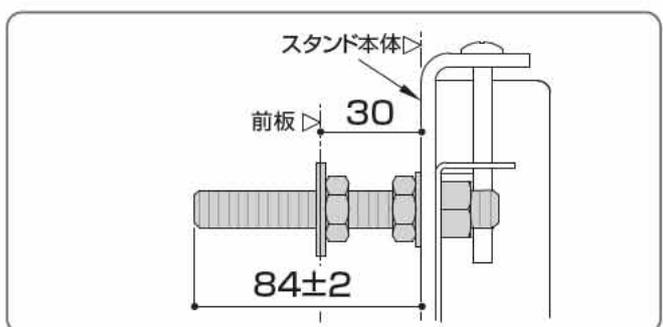


MEMO

壁掛大便器



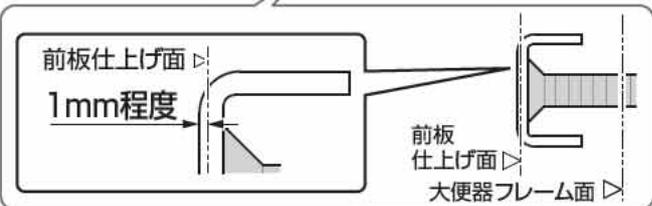
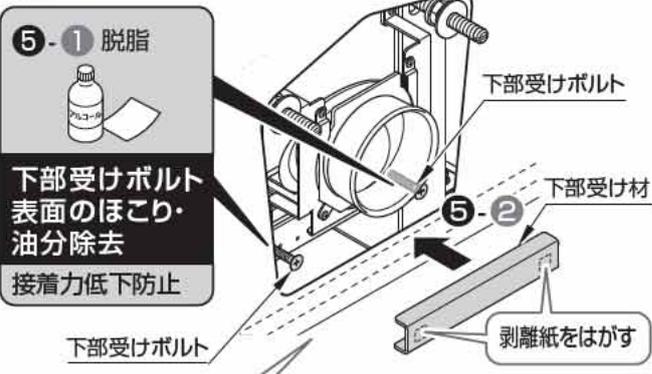
4 便器取付ボルトと下部受けボルトの出寸法、ナット類の調整、本固定



! 注意

! 必ず守る
下部受けボルトを前板仕上げ面より2mm以上引っ込めない
壁材に荷重がかかり、壁材が破損したり水漏れの原因となります。

5 下部受け材の取り付け



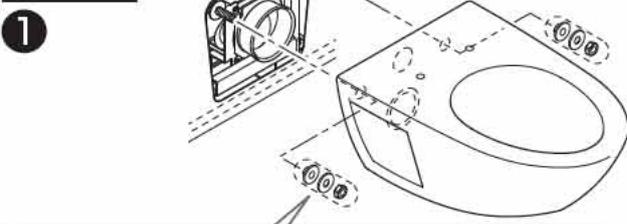
! 注意

! 必ず守る
・下部受け材は必ず取り付ける
・下部受け材は前板仕上げ面より必ず1mm程度前に出す
壁材に荷重がかかり、壁材が破損したり水漏れの原因となります。

3 大便器の取り付け

▶ 大便器同梱の施工説明書参照

仮固定



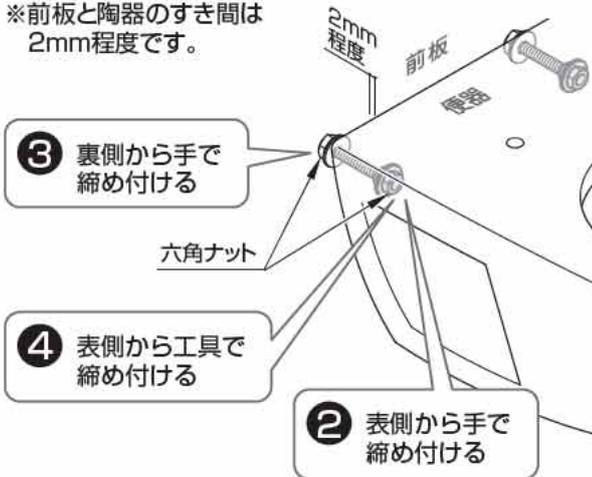
! 注意

! 必ず守る
便器下端を必ず下部受け材に接触させ、便器にかかる荷重を2本の便器取付ボルトと下部受け材で支持する
下部受け材が前板仕上げ面より引っ込んでいると、壁材に荷重がかかり壁材が破損したり水漏れの原因となります。

壁掛大便器

本固定

※前板と陶器のすき間は
2mm程度です。



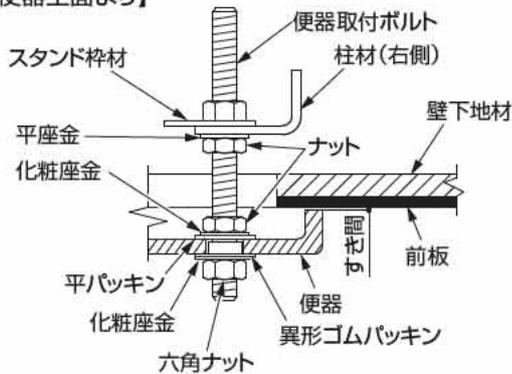
パッキンの擦れる音が発生したら、
六角ナットを若干ゆるめる

破損防止

5 取り付けの確認

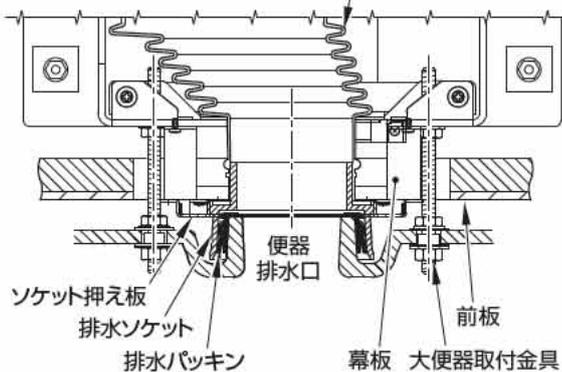
便器取付ボルト部納まり

【便器上面より】



単独排水ソケット部納まり

排水管継手:(左抜きジャバラ部)



サイドカバーは後工程で取り付けますので、大切に
保管してください。

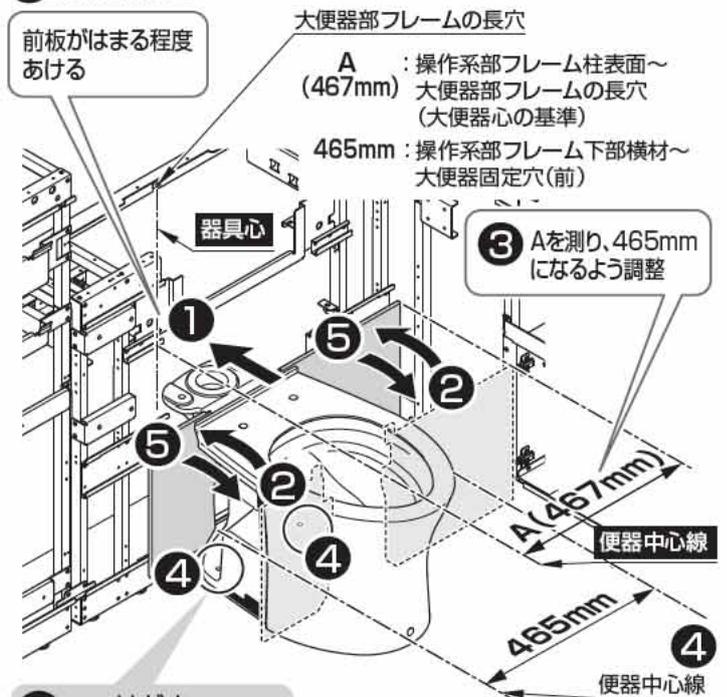
・サイドカバー ▶ P.101 STEP21

床置大便器

1 大便器の仮固定

1 大便器仮置き

2 前板仮設置



4 けがき

便器固定穴:2カ所 便器中心
※鉛筆など(あとで消せるもの)

2 大便器が前板を押ししていないことを確認

5 調整後、前板を取り外す

6 便器を取り外す

7 下穴

深さ:仕上げ厚+55mm

8 なベタッピンねじ
φ6×50 (2本)

座金(2個)
固定片
樹脂プラグ
便器中心線

7 けがき → 下穴

固定片取付穴:2カ所 深さ:仕上げ厚+55mm

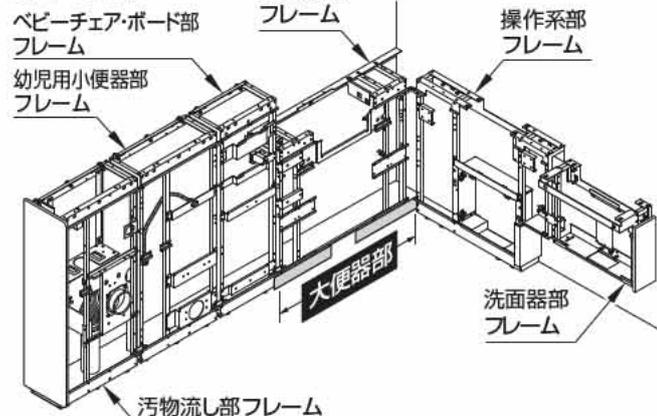
2 排水ジョイント・排水管
の取り付け

▶排水ジョイント施工説明書参照

床置大便器

3 大便器の取り付け

幅木の位置



1 タイプにあわせて幅木を選定

大便器部横に器具が付く場合

幅木L=460mm(大便器部フレームに同梱)2枚を使用。

大便器部のみの場合

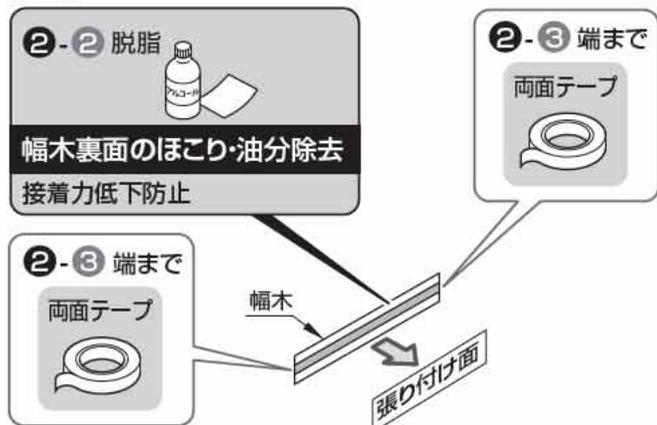
幅木L=460mm(大便器部フレームに同梱)とL型幅木(大便器部フレームに同梱)を使用。

ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部がある場合

2

2-1 表面の養生フィルムをはがす

【裏面】



大便器部のみの場合

2

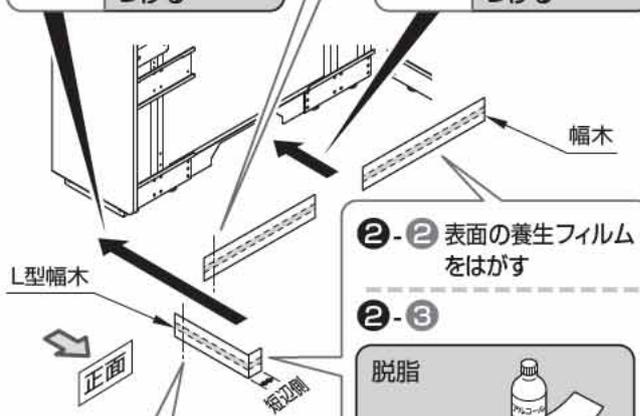
2-1 フレームからはみ出た分



※カット面はバリ取りをしてください。

2-6 幅木取り付け
しっかり押さえつける

2-5 幅木取り付け
しっかり押さえつける



2-1 壁までの奥行きにあわせる



※カット面はバリ取りをしてください。

2-2 表面の養生フィルムをはがす

2-3



幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

2-4 端まで

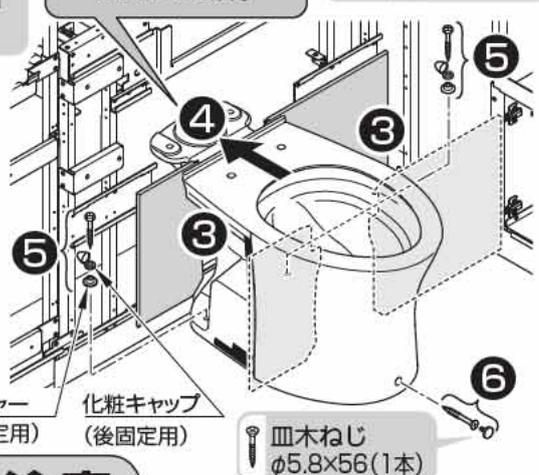


手締めで



4 大便器が前板を押ししていないことを確認

5 木ねじ(後) (2本)



注意

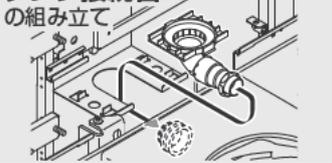
手締めにて行い、木ねじを締めすぎない
必ず守る 強く締めすぎると、便器が割れるおそれがあります。

サイドカバーは後工程で取り付けますので、大切に保管してください。
・サイドカバー ▶P.101 STEP21

STEP7.大便器用セットタンク

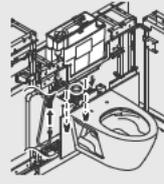
壁掛大便器

1 タンク接続管 の組み立て



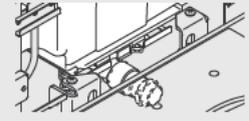
▶P.62

2 セットタンク の取り付け



▶P.62

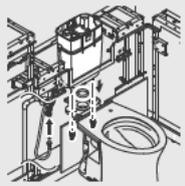
3 セットタンクの傾き調整・ タンク接続管の固定



▶P.63

床置大便器

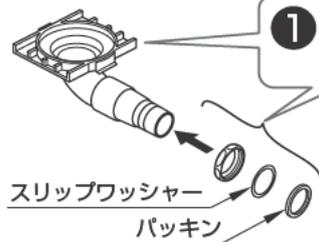
1 セットタンク の取り付け



▶P.63

壁掛大便器

1 タンク接続管の組み立て



1 詰めあわせ箱に
同梱(P.28参照)

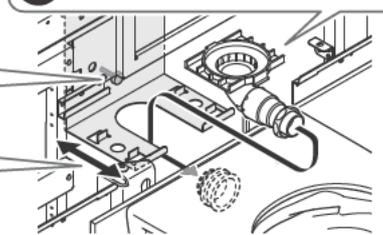
スリップワッシャー

パッキン

2 大便器に差し込みながら入れる

3 ローレットねじを
回して水平に調整

水平確認



2 セットタンクの取り付け

注意



パッキンがセットされている
ことを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす
財産損害発生の原因となります。

必ず守る

注意



汚物流しのセットタンクと見た目が同じなので、必ずラベル付の
大便器用セットタンクを使用する

必ず守る

固定ナットの取り付けかた

注意



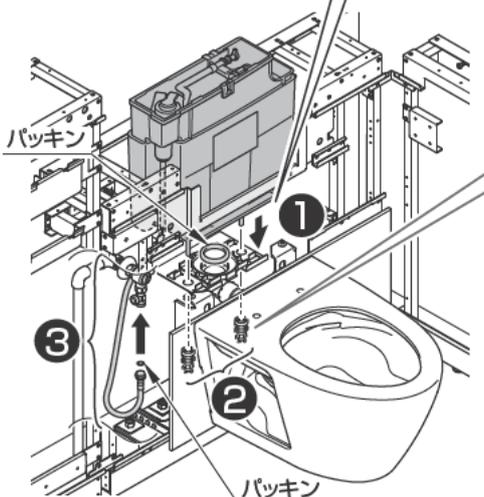
工具使用禁止

固定ナットを締め付け
るときは必ず手で行う
工具を使用すると破損する
おそれがあります。

固定ナットを
手締めでかたく
締め付ける。



※再度、左右が確実に締まって
いることを確認してください。



注意



再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう
給水接続をする
故障や皮ふの炎症などをおこす原因となります。

必ず守る

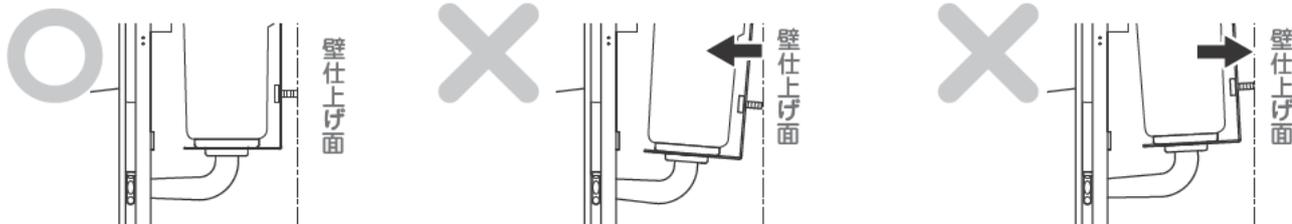
壁掛大便器

3 セットタンクの傾き調整・タンク接続管の固定

① タンク接続管が逆勾配でないことを確認

② セットタンクの水平確認

※セットタンクが水平でない場合、P.62「STEP7.大便器用セットタンク」①の③に戻り再度調整する



③ タンク接続管の固定

・工具を使用して袋ナットを締め付ける。

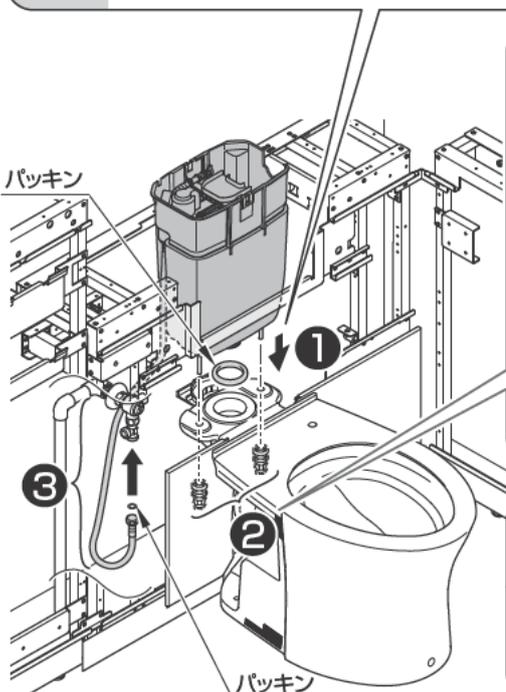


床置大便器

1 セットタンクの取り付け

注意

! パッキンがセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
必ず守る



固定ナットの取り付けかた

注意



工具使用禁止

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

固定ナットを手締めでかたく締め付ける。
※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



注意

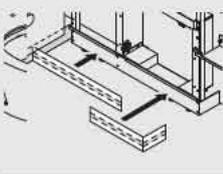


必ず守る

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
故障や皮ふの炎症などをおこす原因となります。

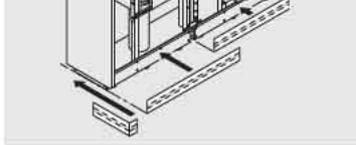
STEP8.幅木

1 操作系部の幅木の取り付け

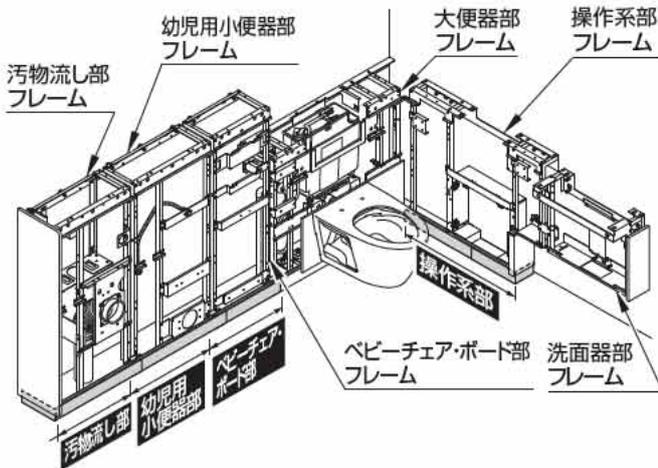


▶P.64

2 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の幅木の取り付け

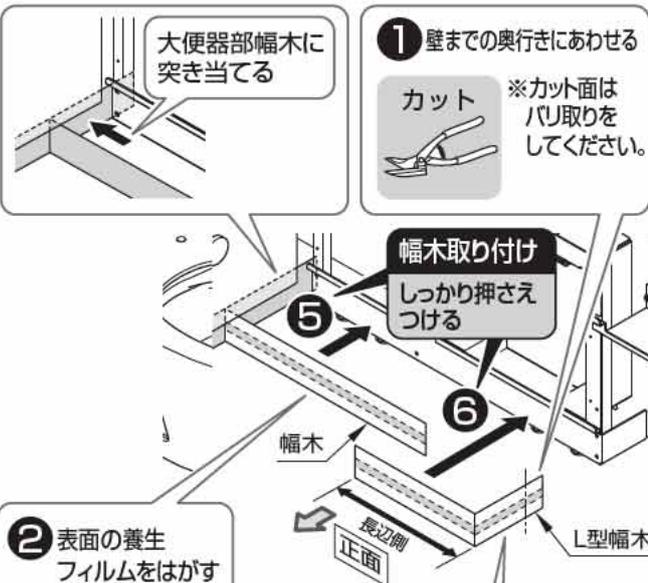


▶P.64



1 操作系部の幅木の取り付け

幅木L=500mmとL型幅木各1枚と両面テープ(大便器部フレームに同梱)を使用



2 表面の養生フィルムをはがす

3 脱脂
幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

4 端まで
両面テープ

2 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の幅木の取り付け

1 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の各器具にあわせて幅木を選定

【各幅木同梱場所】

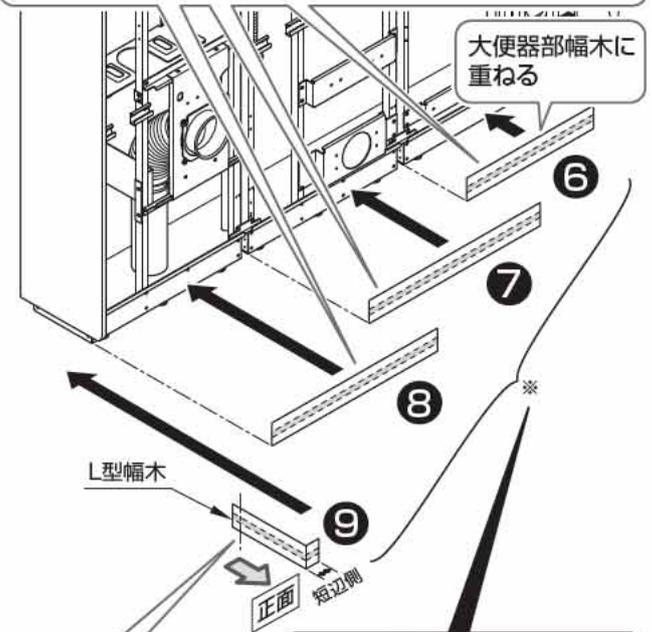
	L=460	L=600	L型
側板なし	ベビーチェア・ボード部フレーム	幼児用小便器部、汚物流し部フレーム	—
側板あり	ベビーチェア・ボード部フレーム	幼児用小便器部、汚物流し部フレーム	汚物流し部側板

※L型幅木はベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の組み合わせによって同梱するフレームが異なります。

3 表面の養生フィルムをはがす

4 脱脂
幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

5 端まで
両面テープ



2 カット
側板ありの場合
【L型幅木】
壁までの奥行きにあわせる

幅木取り付け
側板ありの場合
各フレーム横材の角と幅木の端面をあわせて取り付ける
側板なしの場合
壁仕上げ面と壁に近い幅木の端面をあわせて取り付ける
しっかり押さえつける

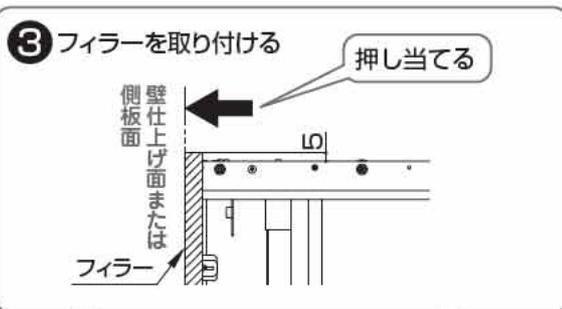
STEP9.フィルター

大便器部横に器具が付く場合のみです。
大便器部のみの場合P.66「STEP10.洗面器」に進んでください。

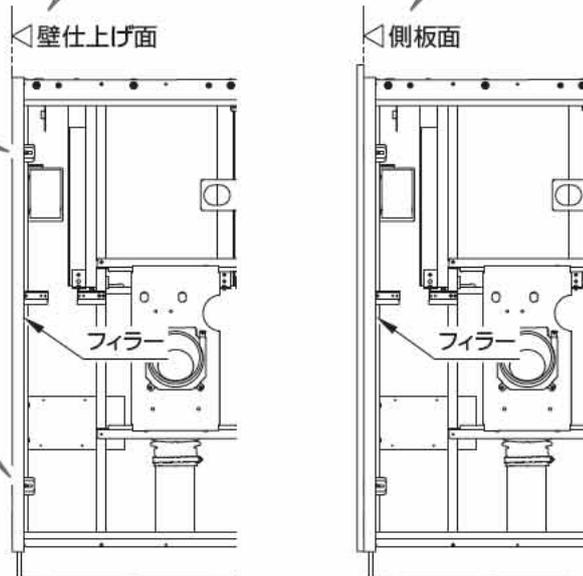
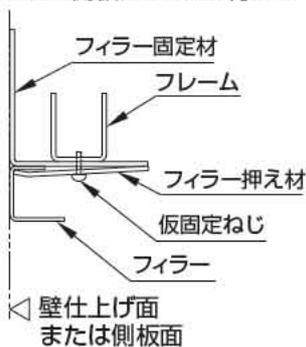
1 フィラーの取り付け

※イラストは汚物流し部の場合です。ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部の場合も同様です。

① フィラーの養生フィルムをはがす



② 仮固定のねじをゆるめ、フィルターをはさんで建築壁または側板にぴったり付ける



MEMO

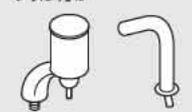
STEP10. 洗面器

1 排水金具・洗面器固定金具の取り付け



▶P.66

2 自動水栓・水石けん入れの取り付け



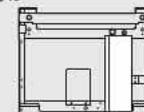
▶P.66

3 洗面器の取り付け



▶P.66

4 電気温水器の取り付け



▶P.67

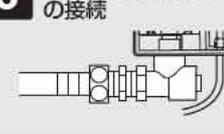
電気温水器ありの場合

5 排水管の接続



▶P.67

6 止水栓・給水管の接続



▶P.68

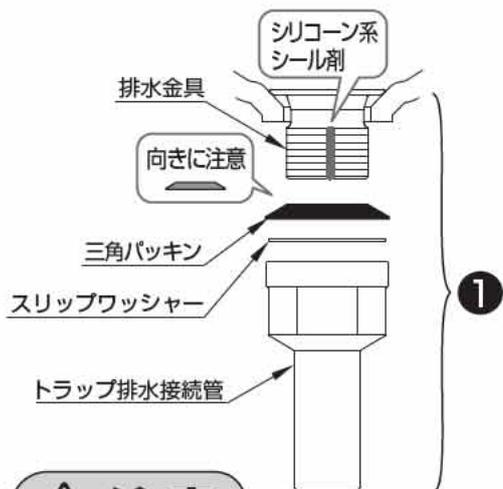
7 洗面器部前板の取り付け



▶P.69

1 排水金具・洗面器固定金具の取り付け

- ① 手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付ける



注意

必ず守る 排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シール剤を塗布する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

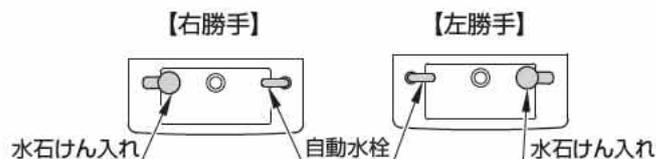
禁止 接続管を締め過ぎない
排水金具が破損し、水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 自動水栓・水石けん入れの取り付け

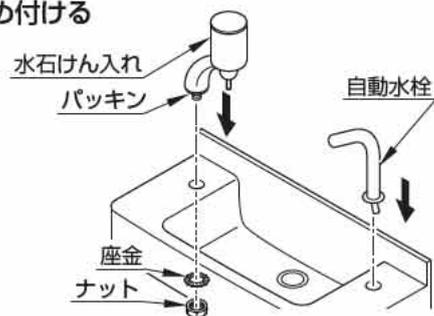
※水石けんありの場合

- ▶取り付け方法は自動水栓施工説明書参照

- ① パッキンの剥離紙をはがす
- ② 自動水栓と水石けん入れを洗面器に平行に取り付ける

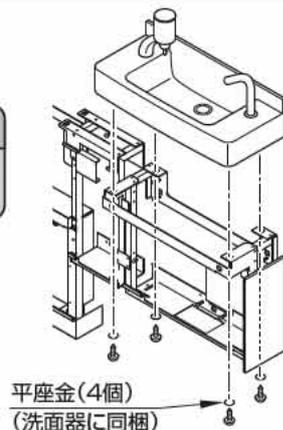


- ③ ゆるまないように工具でしっかりと締め付ける



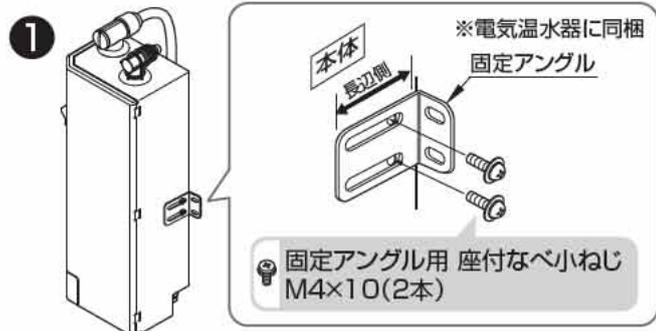
3 洗面器の取り付け

手締めで  「洗面器」に同梱
トラスタッピンねじ
φ4×16(4本)



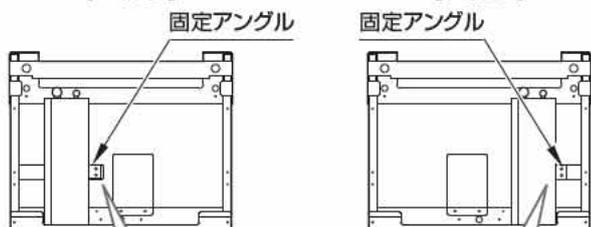
電気温水器ありの場合

4 電気温水器の取り付け

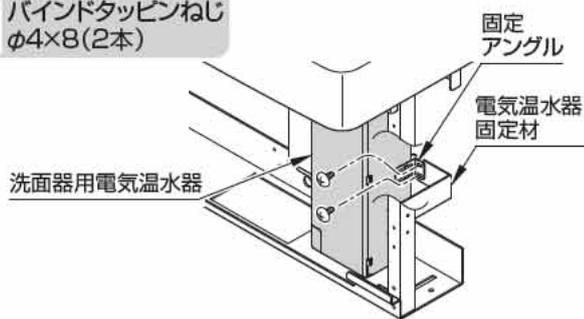


② 電気温水器取付位置

【左勝手】 【右勝手】



フレームに同梱
♀ バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

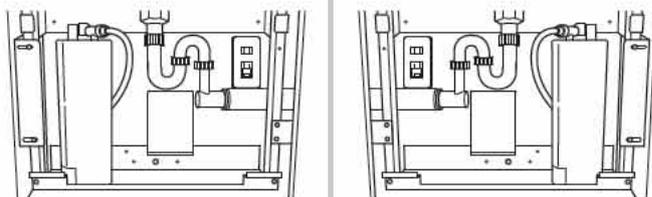


5 排水管の接続

排水管取付位置

【左勝手】

【右勝手】

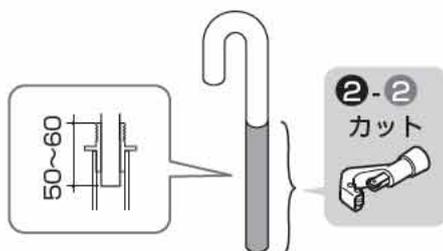
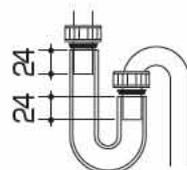


① 壁排水ソケットを排水管に仮固定する

※接着剤は塗布しないでください。

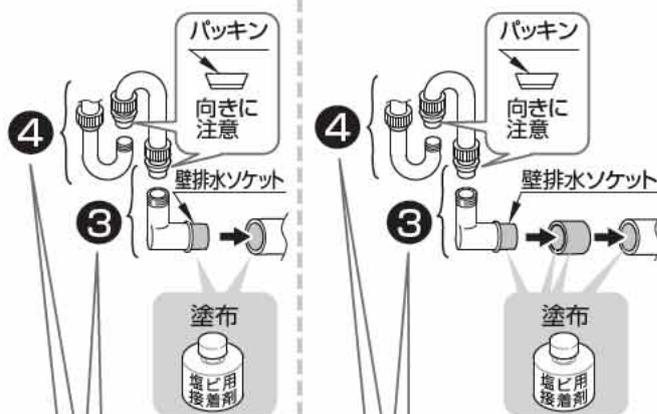
② トラップのカット

②-① トラップ(上)をトラップ(下)の奥まで入れる



【VP40】

【VU40】



パッキンが傾いていないかを確認し、突き当たるまで手締めしたあと、さらに90°程度締め付ける

MEMO

6 止水栓・給水管の接続

1 給水の準備

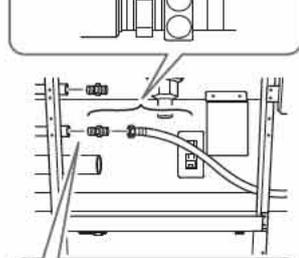
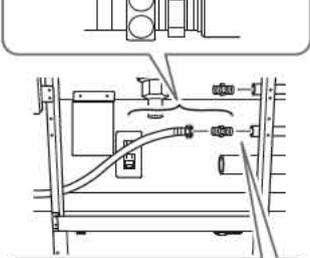
フレキホースの接続▶P.51参照

【左勝手】

【右勝手】

1-2 フレキホースの接続

1-2 フレキホースの接続



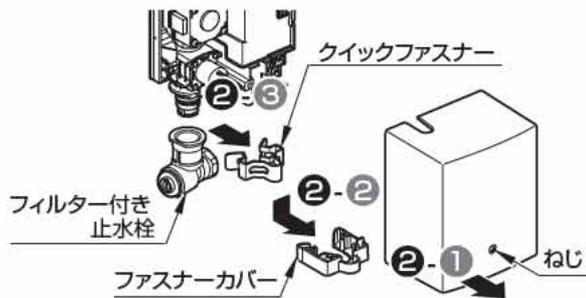
1-1 ニップルの取り付け



1-1 ニップルの取り付け



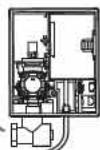
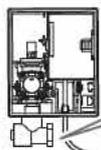
2 自動水栓の取り付け準備



3 止水栓の向きを変える

【左勝手】

【右勝手】



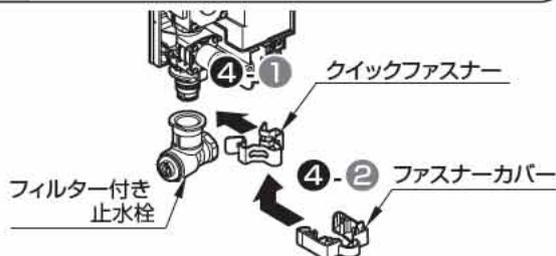
向きに注意

4 止水栓を元に戻す

注意

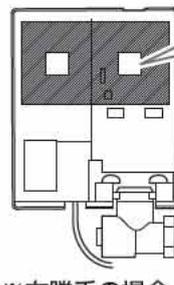
リングにごみなどが付着していないことを確認
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る



5 面ファスナーの取り付け

5-3 水栓機能部裏に面ファスナーを張る(2カ所)
面ファスナー張り付け範囲：■



5-2 面ファスナーをはめあわせ、剥離紙をはがす

上：黒色
下：透明

5-1 脱脂



水栓機能部裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

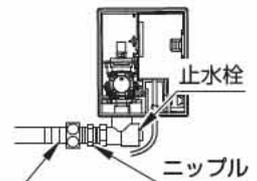
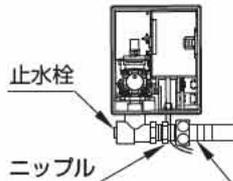
※右勝手の場合

自動水栓の取り付け

6 止水栓とニップル、ニップルとフレキホース接続する

【左勝手】

【右勝手】



7 自動水栓とスパウト側の給水栓と接続する

▶水栓同梱施工説明書7-1参照



注意

給水ホースは、切断面が垂直になるようにカットする

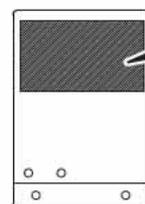
90°

必ず守る

給水ホース接続後、軽く引っ張り確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

8 水栓機能部取付板を脱脂する

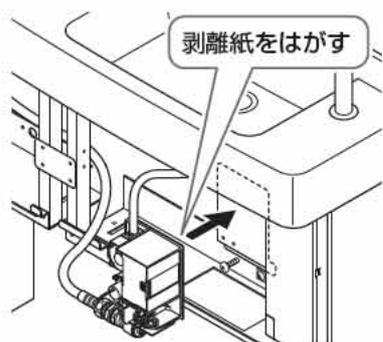
面ファスナー張り付け範囲：■



脱脂

水栓機能部取付板のほこり・油分除去
接着力低下防止

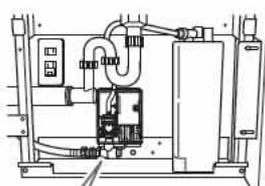
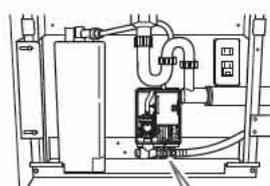
9 水栓機能部の固定



水栓機能部取付位置

【左勝手】

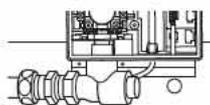
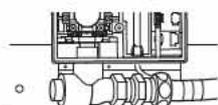
【右勝手】



止水栓固定用の穴が見えるように固定する

【左勝手】

【右勝手】



10 機能部カバーを取り付ける

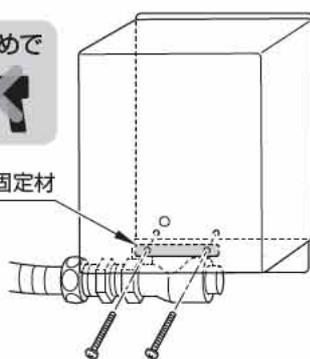
11 止水栓の固定

手締めで

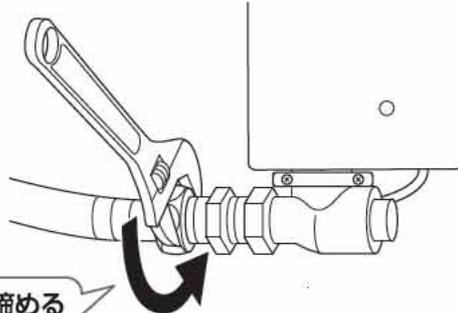


なべ小ねじ
M4×50(2本)

止水栓固定材



12 増し締め



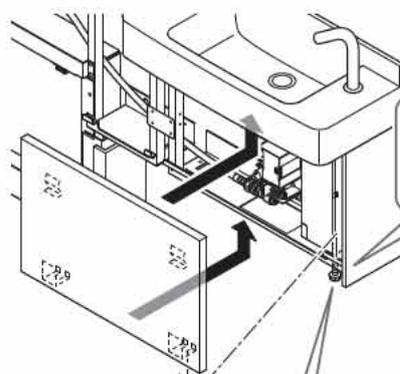
しっかり締める

※右勝手の場合

13 コンセントに差す

7 洗面器部前板の取り付け

1 養生フィルムをはがす



2 ローレットねじをゆるめる
(20mm程度)

3 下部固定材の切り欠き部とあわせてからローレットねじで固定する

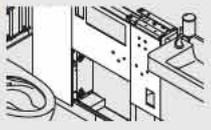
ポイント

必要に応じて、再度側板を調整する(P.56参照)

MEMO

STEP 11. 前板(取り付け)

1 操作系部 前板 の取り付け



▶P.70

2 チャームボックス の取り付け



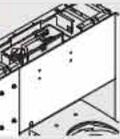
▶P.70

3 ふさぎプレート の取り付け



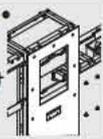
▶P.71

4 大便器部 前板の 取り付け



▶P.71

5 ベビーチェア・ ボード部 前板の取り付け



▶P.72

6 幼児用小便器部 前板の 取り付け

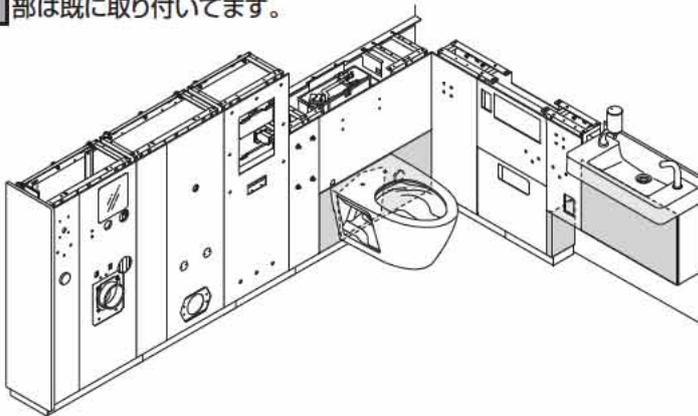


▶P.72

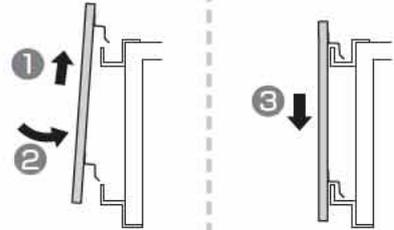
7 汚物流し部 前板の 取り付け



▶P.72

※  部は既に取り付けています。

前板の取り付け方

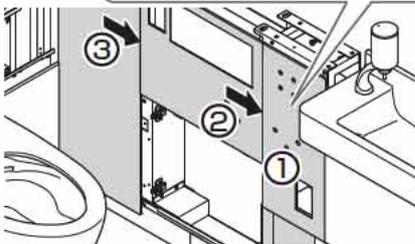


1 操作系部前板の取り付け

隣り合う前板とのすき間がないように寄せて設置する

① 養生フィルムをはがす

② ①をチャームボックスの側面 パネルにあわせて取り付ける



③ ②~③の順に取り付ける

- ②を矢印方向にあわせて取り付ける
- ③を矢印方向にあわせて取り付ける

チャームボックスなしの場合

操作系部前板(上)と同時に前板を取り付ける

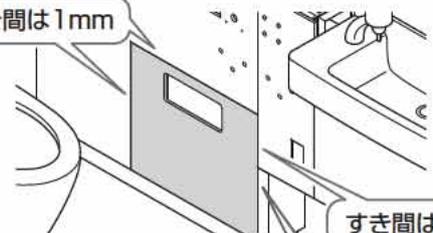
2 チャームボックスの取り付け

チャームボックスありの場合

① 養生フィルムをはがす

※チャームボックスなしの場合は、チャームボックスの投入口のない前板を取り付けてください。

すき間は1mm



すき間は1mm

②

丁番



ステー

②-②

手締めで

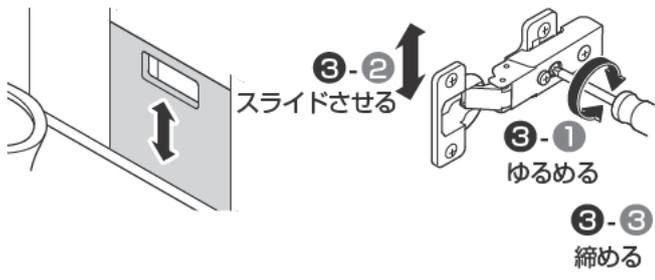


②-① フレーム側に 差し込む

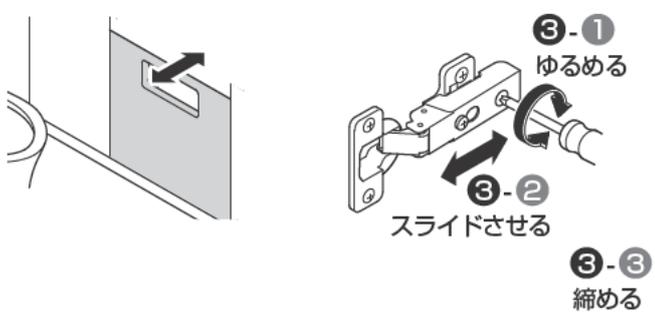
皿タッピンねじ
φ3×8(2本)

③ 丁番を調整する

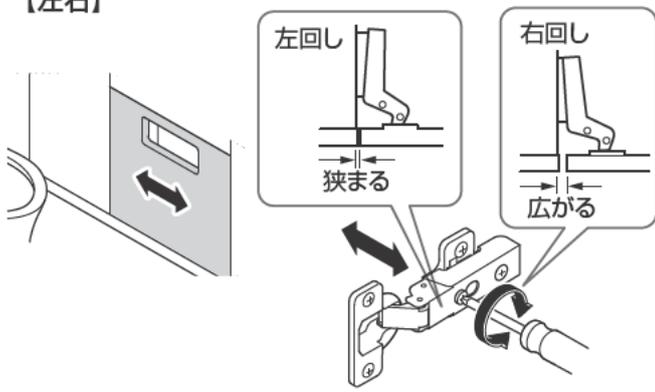
【上下】



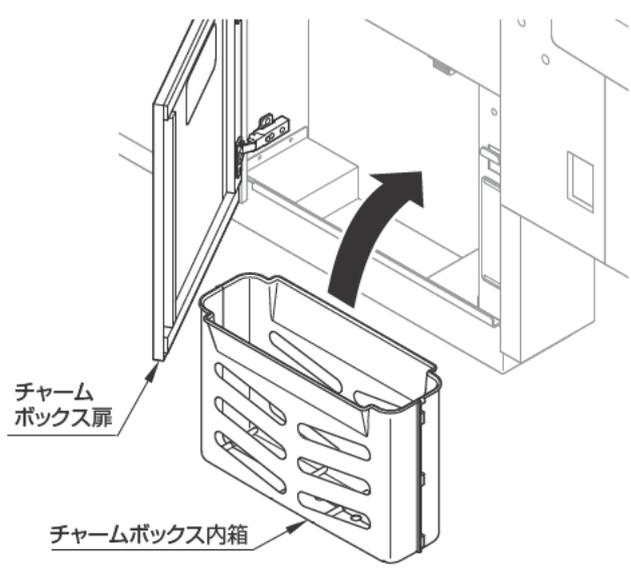
【前後】



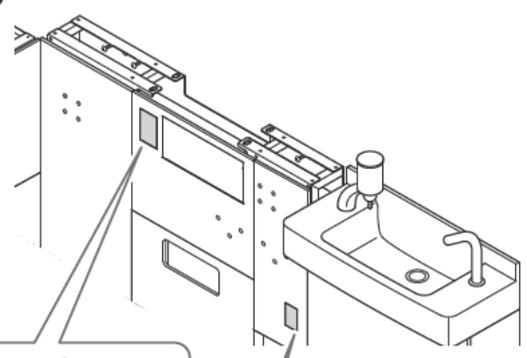
【左右】



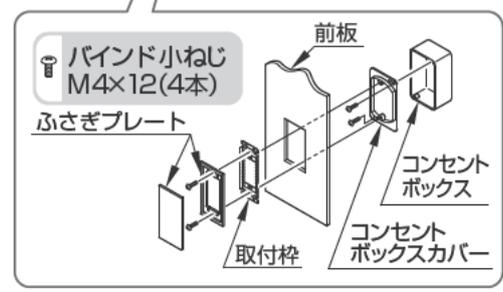
④ チャームボックス内箱を設置



3 ふさぎプレートの取り付け



このふさぎプレートはリモコン設置後に取り付ける
▶STEP21参照

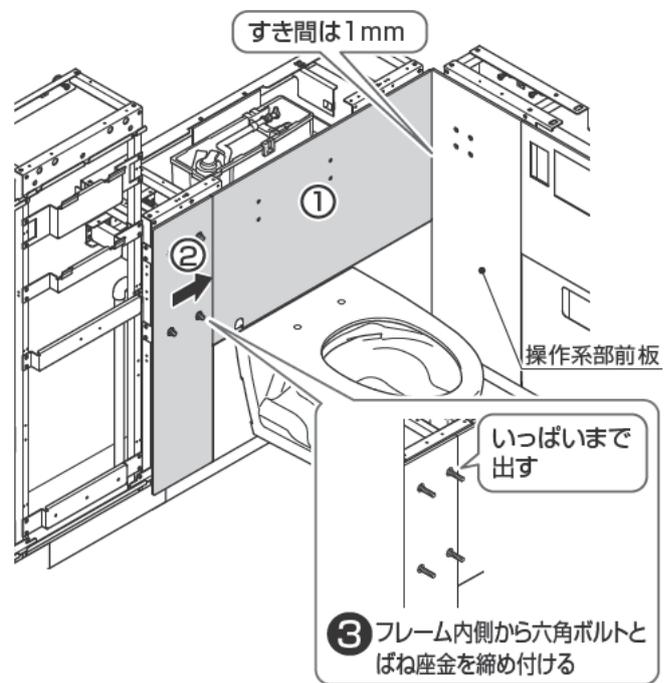


4 大便器部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

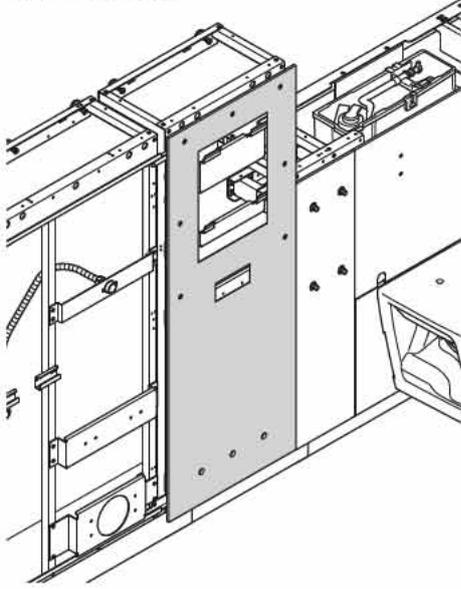
- ②-① ①の前板は下の前板にあわせて取り付ける
- ②-② ②の前板は①の前板にあわせて取り付ける



5 ベビーチェア・ボード部前板の 取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

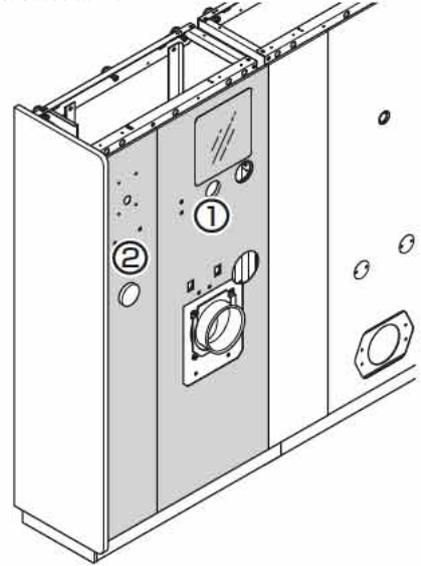


③ 隣り合う前板とのすき間がないように寄せて
設置する

7 汚物流し部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

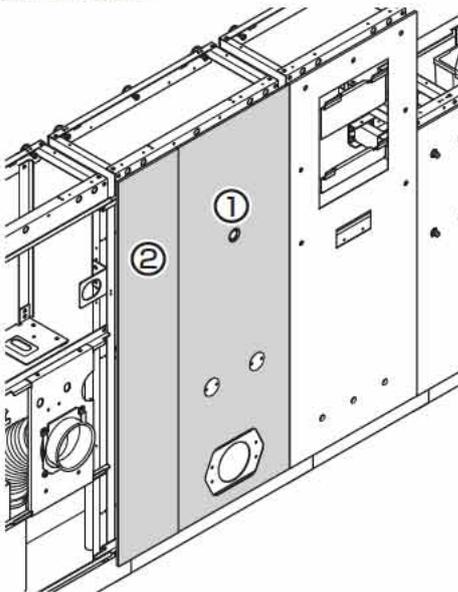


③ 隣り合う前板とのすき間がないように寄せて
設置する

6 幼児用小便器部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

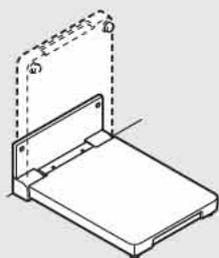


③ 隣り合う前板とのすき間がないように寄せて
設置する

MEMO

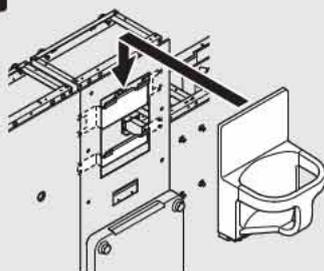
STEP12.ベビーチェア・ボード部

1 フィットtingボードの取り付け



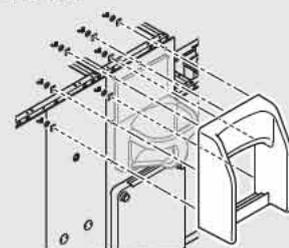
▶P.73

2 ベビーチェアの取り付け



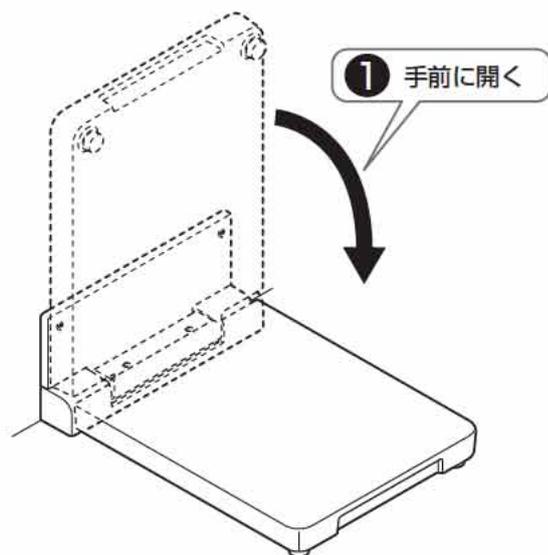
▶P.74

3 ベビーチェア用背もたれの取り付け

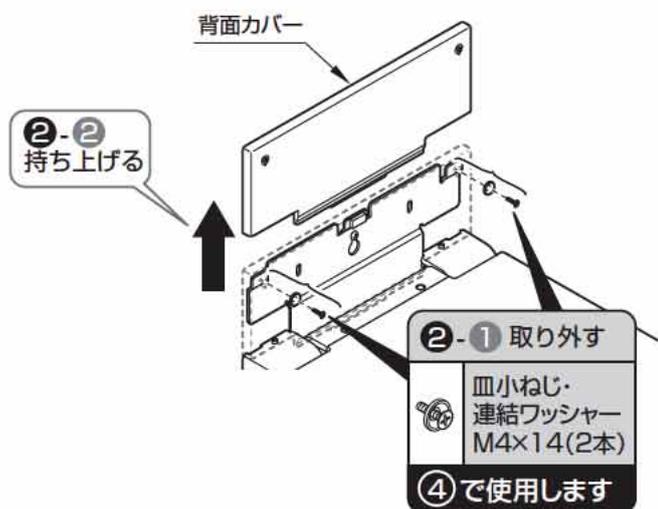


▶P.74

1 フィットtingボードの取り付け



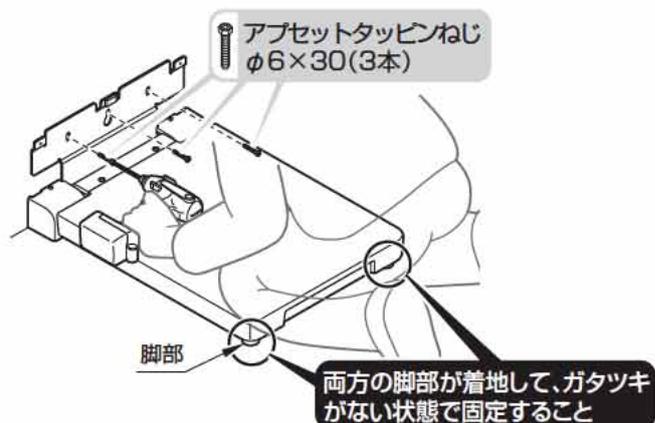
2 背面カバーを取り外す



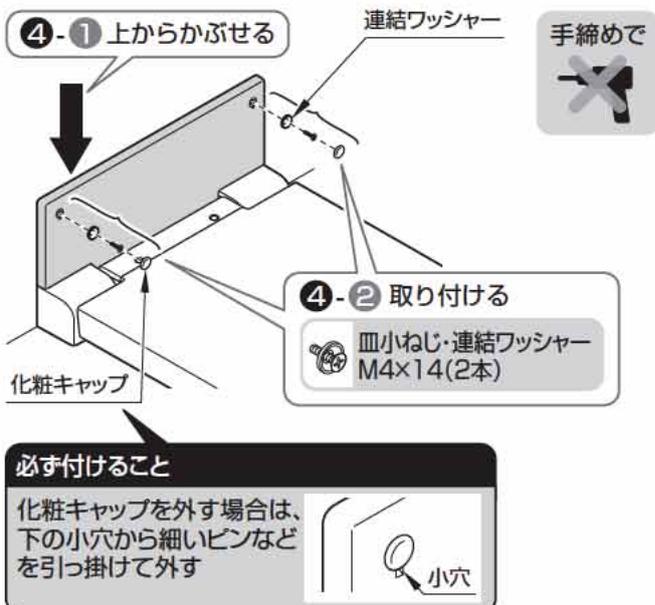
3 本体の固定

⚠ 注意

❗ フィットtingボードに同梱されているトラスタッピンねじφ5×35は使用しない
必ず守る 器具が外れてけがをするおそれがあります。

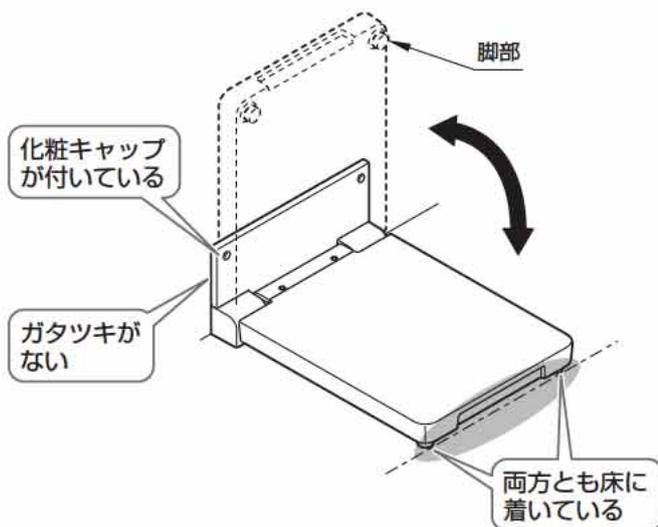


4 背面カバーと化粧キャップを取り付ける

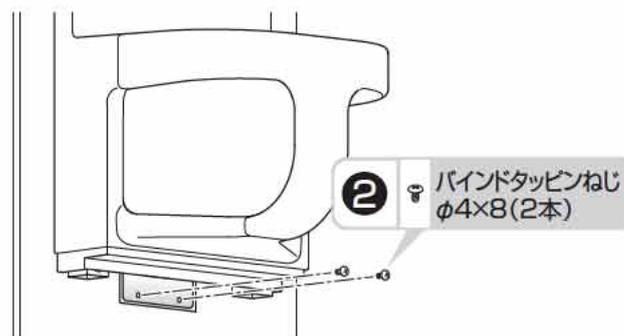


5 施工後の確認

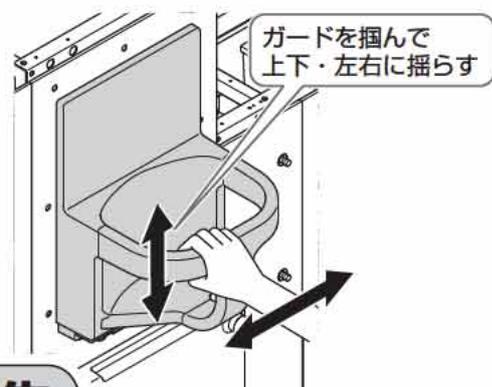
- ボードを開いたとき、脚部は両方とも床に着地しているか
※片側が浮いているときは、**3**を参照し調整してください。
- 化粧キャップは付いているか
- ライニングとの固定にガタツキはないか
- ボードの開閉動作に異常はないか



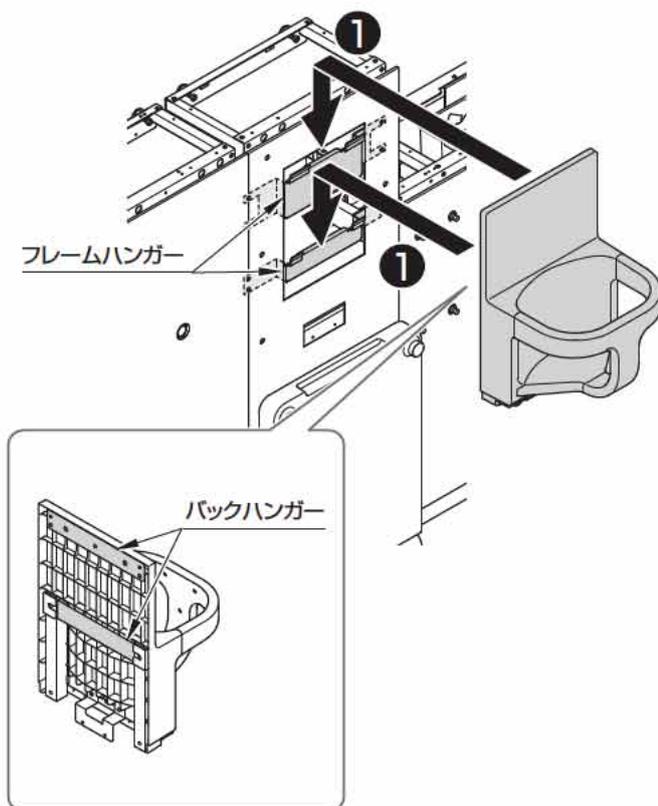
※同梱の取扱説明書、表示マークは必ずお客様にお渡しください。

**3** 施工後の確認

- ガード部を掴んで上下・左右に揺らし、取り付けにガタツキがないことを確認する

**警告**

- !** 取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する
必ず守る

2 ベビーチェアの取り付け**3** ベビーチェア用背もたれの取り付け

手締めで

小形角M6
(7個)ばね座金M5
(7個)蝶ナットM5
(7個)